

令和3年度(2021年度)第2回
吹田市地域包括支援センター運営協議会
資料

吹田市福祉部高齢福祉室

令和3年度（2021年度）第2回吹田市地域包括支援センター運営協議会資料

目次

1	地域密着型サービスの整備状況及び募集について	1
2	地域密着型サービス事業者の指定等について	7
3	介護保険特別会計における令和2年度（2020年度）の地域支援事業決算について	
	（1）介護予防・日常生活支援総合事業関係	8
	（2）地域包括支援センター運営関係等	9
	（3）令和2年度（2020年度）地域包括支援センター収支決算書	10
	（4）令和2年度（2020年度）地域包括支援センター設置状況	12
4	令和3年度（2021年度）地域包括支援センター業務に関する評価	
	（1）評価について	13
	（2）評価項目	15
	（3）評価結果	18
	（4）アンケート結果	33
5	令和3年度（2021年度）上半期 地域包括支援センター業務報告	
	（1）総合相談支援業務関係	
	ア センター別総合相談件数	35
	イ 総合相談内訳	36
	ウ 各種サービス等受付件数	37
	エ 総合相談事例	38
	（2）権利擁護業務関係	
	ア センター別相談件数（新規・継続件数）	43
	イ 高齢者虐待に係る統計資料	44
	（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
	ア ケアマネジャー懇談会の活動	46
	イ 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	47

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業関係	
ア 介護予防普及啓発に関する取組	50
イ 住民主体の介護予防活動支援に関する取組	51
ウ 地域リハビリテーション活動支援事業	53
エ 吹田市高齢者安心・自信サポートサービス事業	54
(5) 認知症支援に関する取組	
ア 認知症サポーター等養成事業実施状況	56
イ 認知症高齢者等支援対象者情報提供制度	57
ウ 運転免許の自主返納等による支援対象者情報提供制度	57
エ 徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業	57
オ 認知症地域サポート事業	58
カ 認知症総合支援事業	58
(6) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務関連	60

1 地域密着型サービスの整備状況及び募集について

(1) 地域密着型サービスの整備

地域密着型サービスとは、ひとり暮らしの方や認知症の方をはじめ、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、平成18年に創設された介護保険サービスで、地域の特性に応じた柔軟な体制で提供され、利用者はその事業所がある自治体の住民に限定されるものとなっています。

本市につきましては、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする第8期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(愛称「第8期吹田健やか年輪プラン」)に基づき、地域密着型サービス事業者の募集・選定を行い、整備を進めています。

今年度は、通常の公募に加え、本市が指定する府有地(大阪府営千里佐竹台住宅用地)における整備計画も、昨年度に引き続き公募しました。

(2) 令和3年度の事前協議対象者選定結果

ア 公募数

サービスの種類 優先的に 整備する圏域		小規模 特別養護 老人ホーム	認知症高齢者 グループ ホーム	小規模多機能型 居宅介護	看護 小規模多機能型 居宅介護	定期巡回・ 臨時対応型 訪問介護看護
優先的に 整備する 圏域	JR以南			○		
	片山・岸部					
	豊津・江坂・南吹田					
	千里山・佐井寺		○			
	山田・千里丘	○	○		○	○
	千里NT・万博・阪大	○				
	計	2か所	2か所	1か所	1か所	1か所

(注) 府有地(大阪府営千里佐竹台住宅用地)で応募があった場合は、最優先で選定する。

(注) 「○」がついている圏域は、優先的に整備する圏域で、応募があった場合は加点する。

イ 応募状況

サービスの種類 整備する圏域		小規模 特別養護 老人ホーム	認知症高齢者 グループ ホーム	小規模多機能型 居宅介護	看護 小規模多機能型 居宅介護	定期巡回・ 臨時対応型 訪問介護看護
JR以南		☆	☆	☆		
片山・岸部						
豊津・江坂・南吹田						
千里山・佐井寺						
山田・千里丘						
千里NT・万博・阪大						
計		1か所	1か所	1か所	応募なし	応募なし

(注) 府有地(大阪府営千里佐竹台住宅用地)の応募者なし

ウ 選定結果

サービス名 :小規模特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型
居宅介護

法人名 :社会福祉法人燦愛会

定員数 :小規模特別養護老人ホーム(29名)
認知症高齢者グループホーム(27名)
小規模多機能型居宅介護(29名)

整備圏域 :JR以南

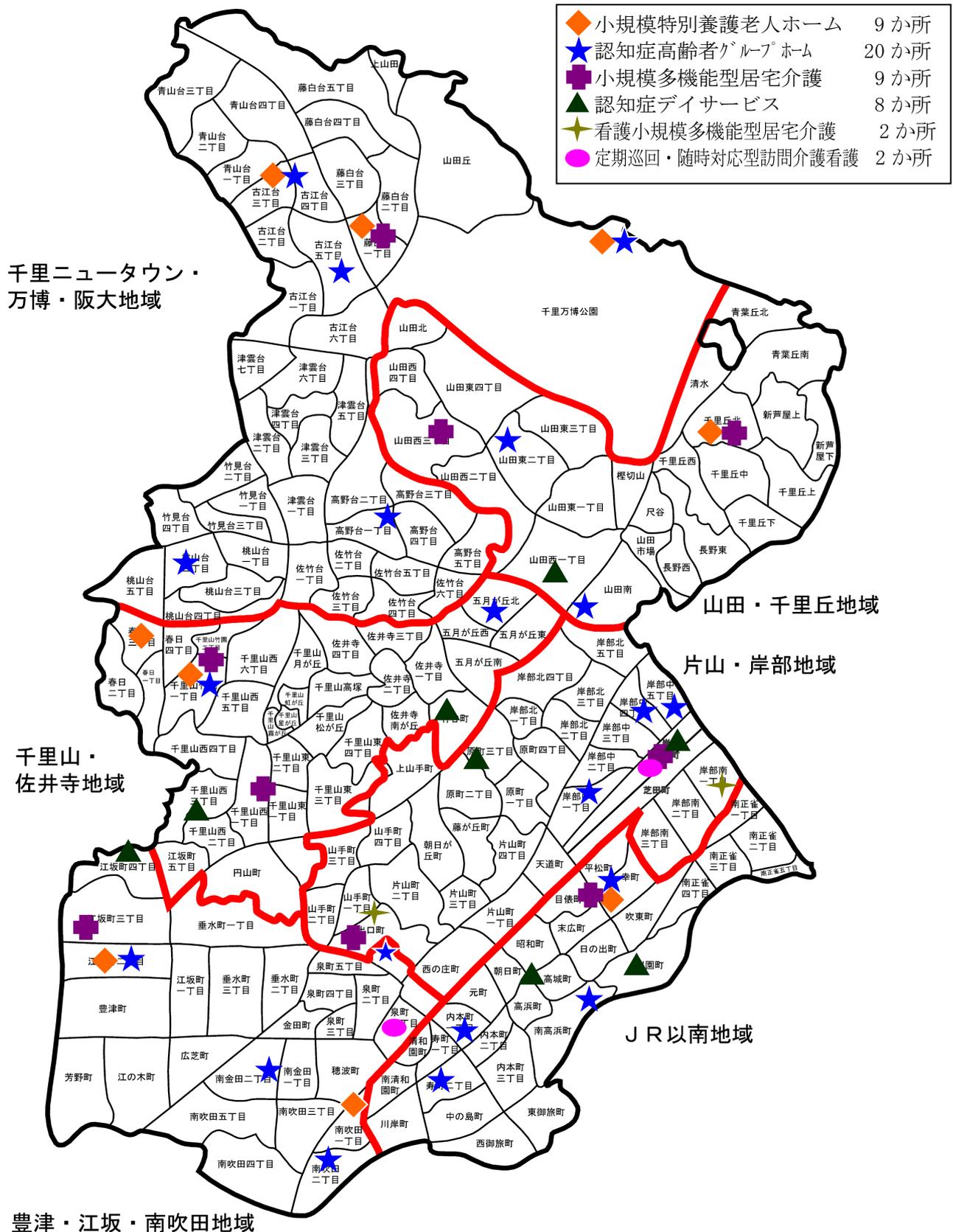
予定地 :吹田市幸町 629-1、629-2、629-3

(3) 第8期吹田健やか年輪プランにおける地域密着型サービス等の整備状況

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ア 吹田市指定地域密着型サービス事業所所在図 | － 別紙1 |
| イ サービス整備圏域別 地域密着型サービス整備数(第8期) | － 別紙2 |
| ウ 吹田市特別養護老人ホーム・介護老人保健施設所在図 | － 別紙3 |
| エ サービス整備圏域別 施設・居住系サービス等の整備状況 | － 別紙4 |

吹田市指定地域密着型サービス事業所所在図（協議中も含む）

（令和3年(2021年)11月現在）



サービス整備圏域別地域密着型サービス整備数(第8期)

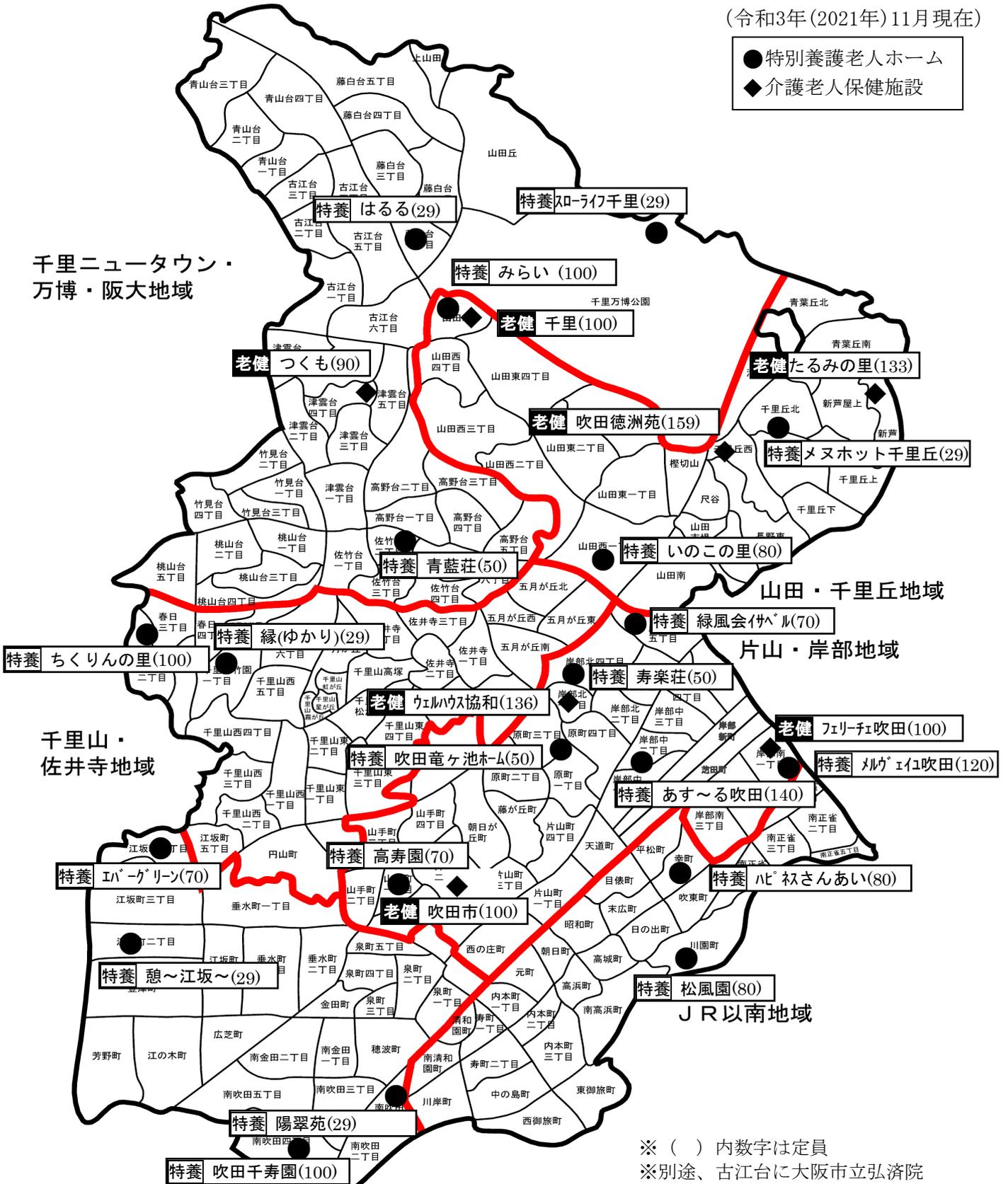
令和3年(2021年)11月現在

圏域	状況	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型通所介護(デイサービス)	夜間対応型訪問介護
JR以南	第8期必要整備数			1か所				
	開設済		・「あい」 ・きさく苑吹田 ・寿				・松風園 ・あいあい	
	開設準備・協議中	(R3年度選定) ・燦愛会	(R3年度選定) ・燦愛会	(R3年度選定) ・燦愛会				
片山岸部	第8期必要整備数							
	開設済		・ヴィラコティ岸部 ・市立岸部中	・豊津の郷 ・ハナソニックエイジフレアセンター吹田 ・健都	・メルヴェイユ吹田 ・なでしこ吹田		・吹田竜ヶ池 ・ハナソニックエイジフレアセンター吹田 ・健都	
	開設準備・協議中		(R元年度選定) ・愛の家グループホーム吹田SST			(H29年度選定) ・ハナソニックエイジフレアセンター吹田 ・健都		
豊津江坂南吹田	第8期必要整備数							
	開設済	・陽翠苑 ・憩～江坂～	・エコ吹田 ・やすらぎ ・明日葉 ・憩～江坂～	・ハナソニックエイジフレアセンター吹田 ・江坂町		・ジャパンケア吹田	・エバーグリーン	
	開設準備・協議中							
千里山佐井寺	第8期必要整備数		1か所					
	開設済	・縁(ゆかり)	・めいの家 ・里(みちのり)	・千里の郷 ・楽(このむ)			・寿楽荘千里山西 ・寿楽荘竹谷生活リハビリハウス	
	開設準備・協議中	(R元年度選定) ・千里春日小規模特別養護老人ホーム						
山田千里丘	第8期必要整備数	1か所	1か所		1か所	1か所		
	開設済	・メヌホット千里丘	・たんぽぽ ・ここから南千里	・メヌホット千里丘 ・ハナソニックエイジフレアセンター吹田 ・山田西			・いのこの里	
	開設準備・協議中							
千里NT万博阪大	第8期必要整備数	1か所						
	開設済	・スローライフ千里 ・はるる	・桃山台 ・スローライフ千里 ・たのしい家南千里 ・グループホーム高寿古江台	・はるる				
	開設準備・協議中	(R2年度選定) ・憩～北千里～	(R2年度選定) ・憩～北千里～					
全市域	第8期必要整備数	2か所	2か所	1か所	1か所	1か所	0か所	0か所
	(うちR3年度選定済)	(1か所)	(1か所)	(1か所)	(0か所)	(0か所)	(0か所)	(0か所)
	開設済	6施設	17施設	8施設	2施設	1施設	8施設	0施設
	開設準備・協議中	3施設	3施設	1施設	0施設	1施設	0施設	0施設

吹田市特別養護老人ホーム・介護老人保健施設所在図

(令和3年(2021年)11月現在)

- 特別養護老人ホーム
- ◆ 介護老人保健施設



※ () 内数字は定員
 ※別途、古江台に大阪市立弘済院
 第一特養 (270) 第二特養 (70)
 がある。

豊津・江坂・南吹田地域

サービス整備圏域別 施設・居住系サービス等の整備状況

別紙4

令和3年(2021年)11月現在

サービス整備圏域	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	認知症高齢者グループホーム	有料老人ホーム(介護付)・ケアハウス
JR以南地域	松風園(80名) ハピネスさんあい(80名) 計 160名	計 0名	「あい」(6名) きさく苑吹田(9名) 寿(18名) 計 33名	
片山・岸部地域	寿楽荘(50名) 高寿園(70名) 緑風会イサベル(70名) メルヴェイユ吹田(120名) あす〜る吹田(140名) 吹田竜ヶ池ホーム(50名) 計 500名	吹田市介護老人保健施設(100名) ウエルハウス協和(136名) フェリーチェ吹田(100名) 計 336名	ヴィラコティ岸部(18名) 市立岸部中(9名) 計 27名	メディカルホームくらら吹田(特定)(48名)
豊津・江坂・南吹田地域	エバーグリーン(70名) 陽翠苑(29名) 憩〜江坂〜(29名) 吹田千寿園(100名) 計 228名	計 0名	エコ吹田(18名) やすらぎ(18名) 明日葉(18名) 憩〜江坂〜(18名) 計 72名	プレザンメゾン吹田(特定)(36名)
千里山・佐井寺地域	ちくりんの里(100名) 縁(ゆかり・離宮千里山)(29名) 計 129名	計 0名	めいの家(16名) 里(みちのり・離宮千里山)(18名) 計 34名	カルム桃山台(特定)(88名) パーマリア・イン緑地公園(特定)(88名) ケアレジデンス千里山(特定)(60名) プレーゴ緑地公園(ケア)(30名)
山田・千里丘地域	いのこの里(80名) みらい(100名) メヌホット千里丘(29名) 計 209名	千里(100名) たるみの里(133名) 吹田徳洲苑(159名) 計 392名	たんぼぼ(27名) ここから南千里(18名) 計 45名	そんぼの家万博公園(特定)(66名) ルナハート千里 丘の街(特定)(98名)
千里ニュータウン・万博・阪大地域	青藍荘(50名) スローライフ千里(29名) はるる(29名) 計 108名	つくも(90名) 計 90名	高寿会桃山台(6名) スローライフ千里(18名) たのしい家南千里(18名) グループホーム高寿 古江台(18名) 計 60名	青藍荘(ケア)(36名) シャロン千里(ケア)(50名) ケアビレッジ千里・古江台(特定)(54名) ベルパージュ千里けやき通り(特定)(126名)
計	1,334名	818名	271名	特定施設(特定) 664名 ケアハウス(ケア) 116名

* 数字は定員数。

2 地域密着型サービス事業者の指定等について

(1) 地域密着型サービス事業者の新規指定について

令和3年(2021年)8月1日から令和3年(2021年)11月1日までの新規指定

法人名	事業所 名称	サービス 種別	事業所 所在地	指定 年月日
株式会社あかつき ※1	あかつきデイサービス	地域密着型通所 介護	吹田市千里山東 1丁目16番16 号	令和3年 (2021年) 9月1日
株式会社土屋 ※2	デイホーム土屋	地域密着型通所 介護	吹田市西の庄町 6番28号	令和3年 (2021年) 11月1日

※1 定員縮小により通所介護から地域密着型通所介護に移行。

※2 事業譲渡に伴う実施法人の変更による指定。

3 介護保険特別会計における令和2年度(2020年度)の地域支援事業決算について

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業関係

(款) 地域支援事業費

(項) 介護予防・日常生活支援総合事業費

(項) その他諸費(項番20・21のみ)

(単位:円)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
目	大 事 業	小 事 業	令和元年度決算 (2019年度)	令和2年度決算 (2020年度)	増減
1	一般介護予防事業費		86,300,836	100,009,014	13,708,178
2	人件費		52,262,907	67,967,165	15,704,258
3	介護保険(地域支援)事業		34,037,929	32,041,849	▲ 1,996,080
4		介護予防事業 (介護予防普及啓発、介護支援サポーター、住民主体の介護予防活動支援、地域リハビリテーション活動支援)	—	15,223,466	15,223,466
5		介護予防普及啓発事業	9,479,027	—	▲ 9,479,027
6		介護支援サポーター事業	3,329,753	—	▲ 3,329,753
7		住民主体の介護予防活動支援事業	200,830	—	▲ 200,830
8		地域リハビリテーション活動支援事業	1,127,060	—	▲ 1,127,060
9		通い・集いの場介護予防事業 (街かどデイハウス介護予防、ふれあい交流サロン介護予防)	—	16,818,383	16,818,383
10		街かどデイハウス介護予防事業	14,217,259	—	▲ 14,217,259
11		ふれあい交流サロン介護予防事業	5,684,000	—	▲ 5,684,000
12	介護予防・生活支援サービス事業費		898,254,345	819,187,476	▲ 79,066,869
13		介護予防・生活支援サービス事業	898,254,345	819,187,476	▲ 79,066,869
14	介護予防ケアマネジメント事業費		114,673,569	104,011,180	▲ 10,662,389
15		介護予防ケアマネジメント事業	114,673,569	104,011,180	▲ 10,662,389
16	高額介護予防サービス費相当事業費		2,184,548	1,856,446	▲ 328,102
17		高額介護予防サービス費相当事業	2,184,548	1,856,446	▲ 328,102
18	高額医療合算介護予防サービス費相当事業費		974,311	2,276,761	1,302,450
19		高額医療合算介護予防サービス費相当事業	974,311	2,276,761	1,302,450
20	審査支払手数料事業費		3,161,730	2,897,482	▲ 264,248
21		審査支払手数料事業	3,161,730	2,897,482	▲ 264,248
22	計		1,105,549,339	1,030,238,359	▲ 75,310,980

※令和2年度に予算科目の再編があったため、令和元年度の大事業名が異なる事業があります。

※上表12以降の大事業は、3と同様の介護保険(地域支援)事業です。

※人件費 令和元年度…保健師3名、理学療法士2名、体育指導員2名

令和2年度…保健師3名、理学療法士2名、体育指導員2名(令和2年度末退職者1名)

<参考>

介護予防・日常生活支援総合事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料	第2号保険料
平成27～平成29年度	25.0%	12.5%	12.5%	22.0%	28.0%
平成30～令和2年度	25.0%	12.5%	12.5%	23.0%	27.0%

(2)地域包括支援センター運営関係等

(款)地域支援事業費

(項)包括的支援事業・任意事業費

(目)包括的支援事業・任意事業費

(単位:円)

ア	イ	ウ	エ	オ
大事業	小事業	令和元年度決算 (2019年度)	令和2年度決算 (2020年度)	増減
1	人件費	99,359,768	109,763,410	10,403,642
2	介護保険(地域支援)事業	421,290,779	419,885,493	▲ 1,405,286
3	包括的支援事業 (令和2年度は委託型地域包括支援センター、地域包括支援センター運営協議会運営を含む)	2,549,766	337,497,197	334,947,431
4	委託型地域包括支援センター事業	337,342,515	-	▲ 337,342,515
5	地域包括支援センター運営協議会運営事業	212,672	-	▲ 212,672
6	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	5,060,102	4,407,169	▲ 652,933
7	包括的支援・社会保障充実事業 (在宅医療・介護連携推進、生活支援体制整備、地域ケア会議開催)	-	15,085,784	15,085,784
8	在宅医療・介護連携推進事業	3,799,326	-	▲ 3,799,326
9	生活支援体制整備事業	10,511,348	-	▲ 10,511,348
10	地域ケア会議開催事業	338,548	-	▲ 338,548
11	認知症施策推進事業 (認知症初期集中支援推進、認知症地域支援・ケア向上)	-	16,810,478	16,810,478
12	認知症初期集中支援推進事業	10,155,963	-	▲ 10,155,963
13	認知症地域支援・ケア向上事業	6,614,929	-	▲ 6,614,929
14	在宅生活支援事業 (介護用品支給、高齢者・介護家族電話相談、救急医療情報キット配布)	-	11,730,457	11,730,457
15	介護用品支給事業	6,106,166	-	▲ 6,106,166
16	高齢者・介護家族電話相談事業	6,016,800	-	▲ 6,016,800
17	救急医療情報キット配布事業	39,382	-	▲ 39,382
18	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	14,812,844	15,293,931	481,087
19	介護相談員派遣事業	4,394,866	131,143	▲ 4,263,723
20	認知症高齢者見守り事業 (徘徊高齢者SOSネットワーク、徘徊高齢者家族支援サービス、認知症地域サポート)	-	1,685,536	1,685,536
21	徘徊高齢者SOSネットワーク事業	78,313	-	▲ 78,313
22	徘徊高齢者家族支援サービス事業	736,765	-	▲ 736,765
23	認知症地域サポート事業	0	-	0
24	介護給付費適正化事業 (介護給付費通知、介護給付費等分析)	-	4,169,180	4,169,180
25	介護給付費通知事業	2,732,936	-	▲ 2,732,936
26	介護給付費等分析事業	1,327,445	-	▲ 1,327,445
27	成年後見制度利用支援事業	8,227,513	12,984,648	4,757,135
28	認知症サポーター養成事業	184,580	65,970	▲ 118,610
29	住宅改修支援事業	48,000	24,000	▲ 24,000
30	計	520,650,547	529,648,903	8,998,356
31	地域支援事業総計	1,626,199,886	1,559,887,262	▲ 66,312,624

※令和2年度に予算科目の再編があったため、令和元年度の大事業名が異なる事業があります。

※人件費 令和元年度…保健師3名、主任介護支援専門員5名、社会福祉士3名

令和2年度…保健師3名、主任介護支援専門員5名、社会福祉士3名(令和2年度末退職者1名)

<参考>

包括的支援事業及び任意事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料
平成27～平成29年度	39.0%	19.50%	19.50%	22.0%
平成30～令和2年度	38.5%	19.25%	19.25%	23.0%

(3) 令和2年度(2020年度)委託型地域包括支援センター収支決算書 No.1

(注)

(注)

(単位:円)

センター名		吹一・吹六	吹三・東	片山	岸部	南吹田	豊津・江坂	千里山東・佐井寺	千里山西	
法人名		社会福祉法人 燦愛会	社会福祉法人 燦愛会	社会福祉法人 恩賜財団済生会支 部大阪府済生会	医療法人 協和会	社会福祉法人 燦愛会	社会福祉法人 松柏会	社会福祉法人 寿楽福祉会	社会福祉法人 寿楽福祉会	
1	センター職員数(人)	4	5	5	4	3	4	4	4	
2	総人口(人)	14,819	19,452	30,671	23,468	23,802	46,089	24,379	31,836	
3	65歳以上高齢者人口(人)	4,275	5,820	6,858	6,422	4,859	7,750	4,796	6,263	
4	75歳以上高齢者人口(人)	2,327	3,309	3,517	3,489	2,605	3,507	2,363	3,024	
5	高齢化率(%)	28.8%	29.9%	22.4%	27.4%	20.4%	16.8%	19.7%	19.7%	
6	収入	①市からの委託料	22,241,534	22,355,725	21,569,725	22,355,725	22,014,083	22,355,725	23,586,083	23,586,083
7		人件費分	18,880,000	18,880,000	18,094,000	18,880,000	17,308,000	18,880,000	18,880,000	18,880,000
8		事務費分	3,361,534	3,475,725	3,475,725	3,475,725	4,706,083	3,475,725	4,706,083	4,706,083
9	支出内訳	②支出合計	25,445,804	23,462,417	21,597,539	23,581,688	23,366,836	24,814,539	24,479,267	24,686,533
10		人件費分	21,954,229	19,215,554	18,094,479	19,154,711	17,472,136	20,226,482	18,950,440	19,331,905
11		事務費分	3,491,575	4,246,863	3,503,060	4,426,977	5,894,700	4,588,057	5,528,827	5,354,628
12	収支①-②		▲ 3,204,270	▲ 1,106,692	▲ 27,814	▲ 1,225,963	▲ 1,352,753	▲ 2,458,814	▲ 893,184	▲ 1,100,450

(注)3職種の配置について欠員が生じたことから、欠員期間に対応して市が示している基準に基づき上限額から月単位(39.3万円/1人)で減額した結果、合計3,930,000円の返還がありました。

※センター職員の配置は、管理者及び3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を各1名以上計4名配置することとしています。管理者は、3職種と兼務も可としています。職員数については、令和3年3月31日時点の配置人数を記載しています。

※既存の事務所で運営ができない場合に限り、事務所の賃借料を委託料に含めて支払っています。また、市の公共施設内で運営しているセンターは光熱水費分を差し引いて支払っています。

※総人口及び高齢者人口は、令和3年3月末現在人口統計

参考【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方、基本チェックリスト該当者の方のプラン作成)】にかかる介護報酬収支

区分		吹一・吹六	吹三・東	片山	岸部	南吹田	豊津・江坂	千里山東・佐井寺	千里山西	
13	ケアプランナー配置状況(人)	0	0	0	2	0	0	1	1	
14	収入	11,154,852	15,716,188	15,161,824	17,339,800	12,228,588	17,886,209	12,105,100	15,238,776	
15	支出内訳	人件費 (プランナー、3職種のプラン従事分人件費)	448,045	392,154	3,193,143	4,027,362	356,574	1,064,552	3,118,244	3,216,990
16		物件費(原案作成委託料等)	6,475,953	10,556,603	12,116,692	10,667,872	7,383,981	12,222,852	7,443,485	10,141,618
17		支出合計④	6,923,998	10,948,757	15,309,835	14,695,234	7,740,555	13,287,404	10,561,729	13,358,608
18	収支③-④		4,230,854	4,767,431	▲ 148,011	2,644,566	4,488,033	4,598,805	1,543,371	1,880,168

(3) 令和2年度(2020年度)委託型地域包括支援センター収支決算書 No.2

(注)

(単位:円)

センター名		亥の子谷	山田	千里丘	桃山台・竹見台	佐竹台・高野台	古江台・青山台	津雲台・藤白台	計	1センター当たりの平均	
法人名		社会福祉法人 こぼと会	社会福祉法人 こぼと会	株式会社 ケア21	医療法人 協和会	社会福祉法人 藍野福祉会	社会福祉法人 大阪キリスト教女 子青年福祉会	医療法人 愛仁会	-	-	
1	センター職員数(人)	4	4	4	4	3	4	4	60	4	
2	総人口(人)	25,045	24,365	44,260	16,349	14,077	17,199	21,133	376,944	25,130	
3	65歳以上高齢者人口(人)	7,132	6,943	8,587	4,945	4,526	5,378	5,140	89,694	5,980	
4	75歳以上高齢者人口(人)	3,230	3,285	3,819	2,982	2,718	3,247	2,834	46,256	3,084	
5	高齢化率(%)	28.5%	28.5%	19.4%	30.2%	32.2%	31.3%	24.3%	-	-	
6	収入	①市からの委託料	22,241,534	22,355,725	22,355,725	22,241,534	20,783,725	22,355,725	22,355,725	334,754,376	22,316,958
7		人件費分	18,880,000	18,880,000	18,880,000	18,880,000	17,308,000	18,880,000	18,880,000	279,270,000	18,618,000
8		事務費分	3,361,534	3,475,725	3,475,725	3,361,534	3,475,725	3,475,725	3,475,725	55,484,376	3,698,958
9	支出内訳	②支出合計	22,860,987	23,407,699	23,518,714	24,569,597	22,918,335	22,729,795	23,368,800	354,808,550	23,653,903
10		人件費分	19,402,863	19,685,929	19,983,792	19,765,478	19,441,099	19,022,070	19,891,773	291,592,940	19,439,529
11		事務費分	3,458,124	3,721,770	3,534,922	4,804,119	3,477,236	3,707,725	3,477,027	63,215,610	4,214,374
12	収支①-②		▲ 619,453	▲ 1,051,974	▲ 1,162,989	▲ 2,328,063	▲ 2,134,610	▲ 374,070	▲ 1,013,075	▲ 20,054,174	▲ 1,336,945

(注)3職種の配置について欠員が生じたことから、欠員期間に対応して市が示している基準に基づき上限額から月単位(39.3万円/1人)で減額した結果、合計3,930,000円の返還がありました。

※センター職員の配置は、管理者及び3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を各1名以上計4名配置することとしています。管理者は、3職種と兼務も可としています。職員数については、令和3年3月31日時点の配置人数を記載しています。

※既存の事務所で運営ができない場合に限り、事務所の賃借料を委託料に含めて支払っています。また、市の公共施設内で運営しているセンターは光熱水費分を差し引いて支払っています。

※総人口及び高齢者人口は、令和3年3月末現在人口統計

参考【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方、基本チェックリスト該当者のプラン作成)】にかかる介護報酬収支

区分		亥の子谷	山田	千里丘	桃山台・竹見台	佐竹台・高野台	古江台・青山台	津雲台・藤白台	計	1センター当たりの平均	
13	ケアプランナー配置状況(人)	1	1	0	1	1	0	0	8	1	
14	収入	介護報酬額 ③	12,510,968	14,906,512	13,692,984	18,455,216	14,582,968	16,312,784	13,118,740	220,411,509	14,694,101
15	支出内訳	人件費 (プランナー、3職種のプラン従事分人件費)	600,089	5,207,434	1,051,779	2,941,557	2,192,689	1,227,381	4,972,943	34,010,936	2,267,396
16		物件費(原案作成委託料等)	8,788,140	8,151,959	8,704,950	11,879,076	9,185,251	14,232,985	7,811,719	145,763,136	9,717,542
17		支出合計 ④	9,388,229	13,359,393	9,756,729	14,820,633	11,377,940	15,460,366	12,784,662	179,774,072	11,984,938
18	収支 ③-④		3,122,739	1,547,119	3,936,255	3,634,583	3,205,028	852,418	334,078	40,637,437	2,709,162

(4)令和3年度(2021年度) 地域包括支援センター設置状況

令和3年3月末現在人口

	センター名	担当地域	総人口 (人)	65歳以上 高齢者人口 (人)	75歳以上 高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)
1	吹一・吹六 (社会福祉法人燦愛会)	寿町・中の島町・西御旅町・東御旅町 内本町・元町・朝日町・清和園町 南清和園町・川岸町	14,819	4,275	2,327	28.8
2	吹三・東 (社会福祉法人燦愛会)	高浜町・南高浜町・昭和田・高城町 末広町・日の出町・川園町・吹東町 幸町・南正雀・平松町・目俵町	19,452	5,820	3,309	29.9
3	片山 (社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会)	片山町・原町2・出口町・藤が丘町 朝日が丘町・上山手町・天道町 山手町	30,671	6,858	3,517	22.4
4	岸部 (医療法人協和会)	原町1、3、4・岸部南・岸部中 岸部北・芝田町・岸部新町	23,468	6,422	3,489	27.4
5	南吹田 (社会福祉法人燦愛会)	泉町・西の庄町・金田町・南金田 南吹田・穂波町	23,802	4,859	2,605	20.4
6	豊津・江坂 (社会福祉法人松柏会)	垂水町・江坂町1～4・豊津町 江の木町・芳野町・広芝町	46,089	7,750	3,507	16.8
7	千里山東・佐井寺 (社会福祉法人寿楽福祉会)	千里山霧が丘・千里山星が丘 千里山虹が丘・千里山月が丘 千里山東・千里山松が丘・竹谷町 佐井寺南が丘・佐井寺・千里山高塚	24,379	4,796	2,363	19.7
8	千里山西 (社会福祉法人寿楽福祉会)	千里山西・春日・千里山竹園・円山町 江坂町5	31,836	6,263	3,024	19.7
9	亥の子谷 (社会福祉法人こぼと会)	五月が丘西・五月が丘南・山田東1 山田西1・山田南・五月が丘東 五月が丘北	25,045	7,132	3,230	28.5
10	山田 (社会福祉法人こぼと会)	山田東2～4、山田西2～4・山田北	24,365	6,943	3,285	28.5
11	千里丘 (株式会社ケア21)	樫切山・山田市場・尺谷・千里丘上 千里丘中・千里丘下・千里丘西 千里丘北・長野東・長野西・新芦屋上 新芦谷下・清水・青葉丘南・青葉丘北	44,260	8,587	3,819	19.4
12	桃山台・竹見台 (医療法人協和会)	津雲台1・桃山台・竹見台	16,349	4,945	2,982	30.2
13	佐竹台・高野台 (社会福祉法人藍野福祉会)	佐竹台・高野台	14,077	4,526	2,718	32.2
14	古江台・青山台 (社会福祉法人 大阪キリスト教女子青年福祉会)	古江台・青山台	17,199	5,378	3,247	31.3
15	津雲台・藤白台 (医療法人愛仁会)	津雲台2～7・藤白台・上山田 千里万博公園・山田丘	21,133	5,140	2,834	24.3
合計(高齢化率は、吹田市総人口に占める65歳以上高齢者人口)			376,944	89,694	46,256	23.8

※総人口及び高齢者人口は、令和3年3月末現在人口統計

4 令和3年度吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について

(1)吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について

ア 趣旨

地域包括支援センターについては、今後、地域包括ケアシステムの構築に向けて、その要の役割を果たすことが期待されており、運営業務が公正に、かつ、効果的・効率的に遂行されているかを適切に評価し、不十分な点があれば改善に向けて取り組むなどし、センターの運営について一定の水準を確保する必要があります。

こうしたことから、委託事業者及び本市において、毎年度、センターの委託業務実施状況の評価を行うとともに、5年間の委託契約のうち4年目には外部有識者等の専門的見地からの評価(委員評価)を加えることとしています。

イ 評価の実施主体

No.	評価名称	主体
1	自己評価	受託事業者
2	1次評価	吹田市
3	委員評価	吹田市地域包括支援センター運営業務委託事業者選定等委員会 ^{※1}

※1 学識経験者、有識者等で構成されている市の附属機関です。

「自己評価」及び「1次評価」は毎年度、「委員評価」は5年に1回実施します。

令和3年度は片山及び南吹田の「委員評価」を実施しました。

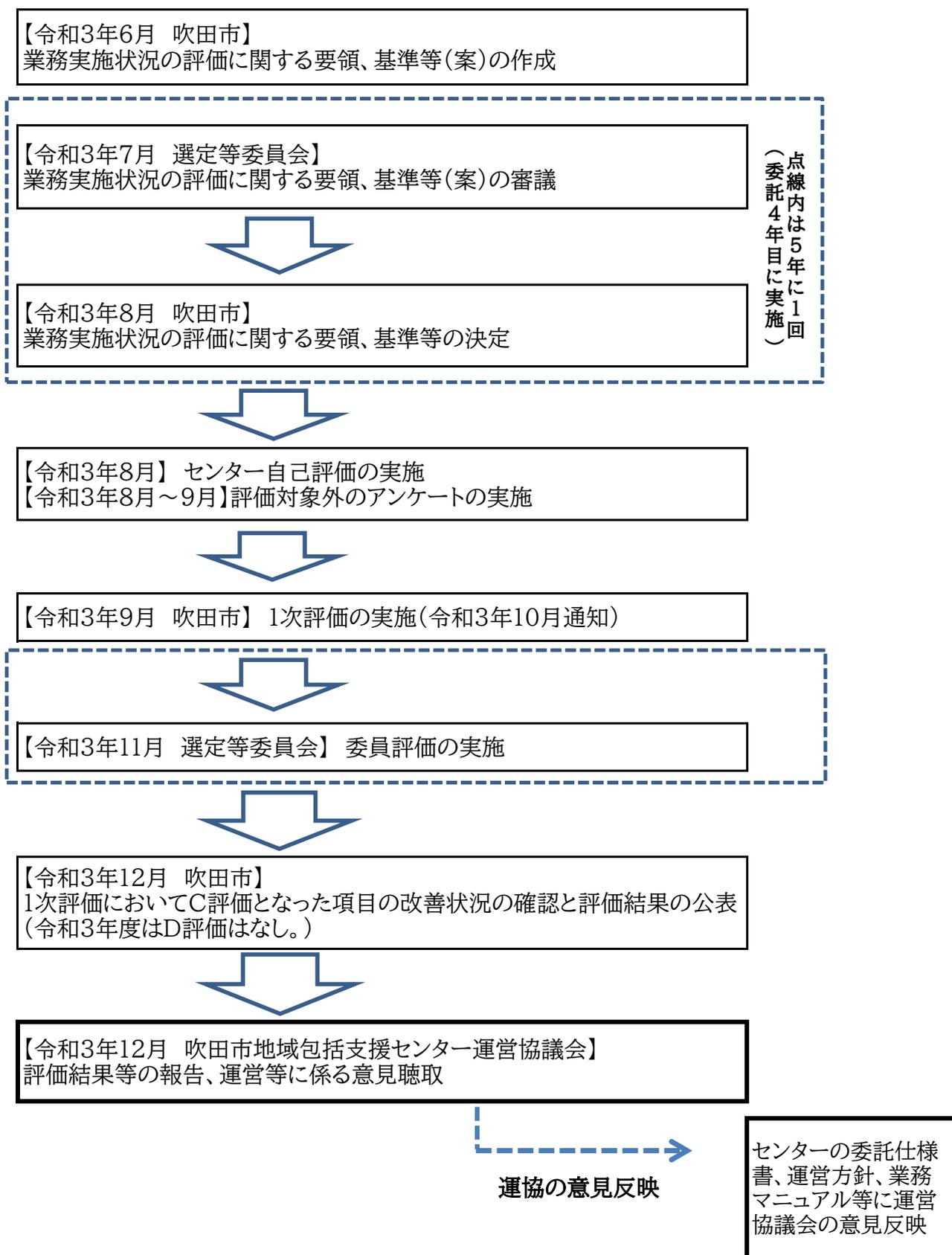
ウ 評価の対象(地域包括支援センター名称)

1	吹一・吹六	9	亥の子谷
2	吹三・東	10	山田
3	片山	11	千里丘
4	岸部	12	桃山台・竹見台
5	南吹田	13	佐竹台・高野台
6	豊津・江坂	14	古江台・青山台
7	千里山東・佐井寺	15	津雲台・藤白台
8	千里山西		

エ 評価の方法

委託事業者は前年度の業務実施状況について、国及び市が定めた評価項目に基づき自己評価を実施します。

オ 評価等の流れ(令和3年度実施分)



(2)評価項目

大項目	中項目	小項目	
1	組織・運営体制	1 市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	
		2 事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	
		3 市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	
		4 市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	
		5 市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。	
		6 把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。	
		7 三職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)を配置しているか。	
		8 市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	
		9 センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。	
		10 夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	
		11 平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	
		12 パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	
	2	個人情報の管理	13 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。
			14 個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。
			15 個人情報の保護に関する責任者を配置しているか。
			16 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。
	3	利用者の満足度の向上	17 市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。
			18 センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。
			19 相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。
2	個別業務	1 支援合業務談	20 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。
			21 相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。
			22 相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。
			23 1年間の相談件数を市町村に報告しているか
			24 相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか。
			25 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。

2	権 業 利 務 擁 護	26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。	
		27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。	
		28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	
		29	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	
		30	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	
	3	包 括 的 ・ ネ ジ メ ン ト 業 務 マ マ	31	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか。
			32	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。
			33	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。
			34	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか。
			35	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。
			36	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。
	4	地 域 ケ ア 会 議	37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。
			38	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。
			39	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。
			40	センター主催の地域ケア会議において、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域課題に関して検討しているか。
			41	センターの主催により、地域づくり・資源開発もしくは政策の形成の機能を持つ、地域課題を検討する地域ケア会議を開催しているか。
			42	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。
			43	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。
			44	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。
			45	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。
			46	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。
	5	メ 介 護 予 防 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト 支 援	47	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。
			48	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。
			49	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。
			50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。
			51	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。

3	事業間連携・社会 保障充実分	52	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。
		53	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。
		54	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。
		55	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。
		56	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。
4	法人の経営状況	57	法人の経営状況

評価区分

区分	水準
A	センター指標を満たしている。かつ、求められる以上のレベルで実施している。
B	センター指標を満たしている。
C	センター指標を満たしていない。
D	センター指標を満たしていない。かつ、達成に向けての努力もしておらず、改善を見込むことができない。

(3) 評価結果

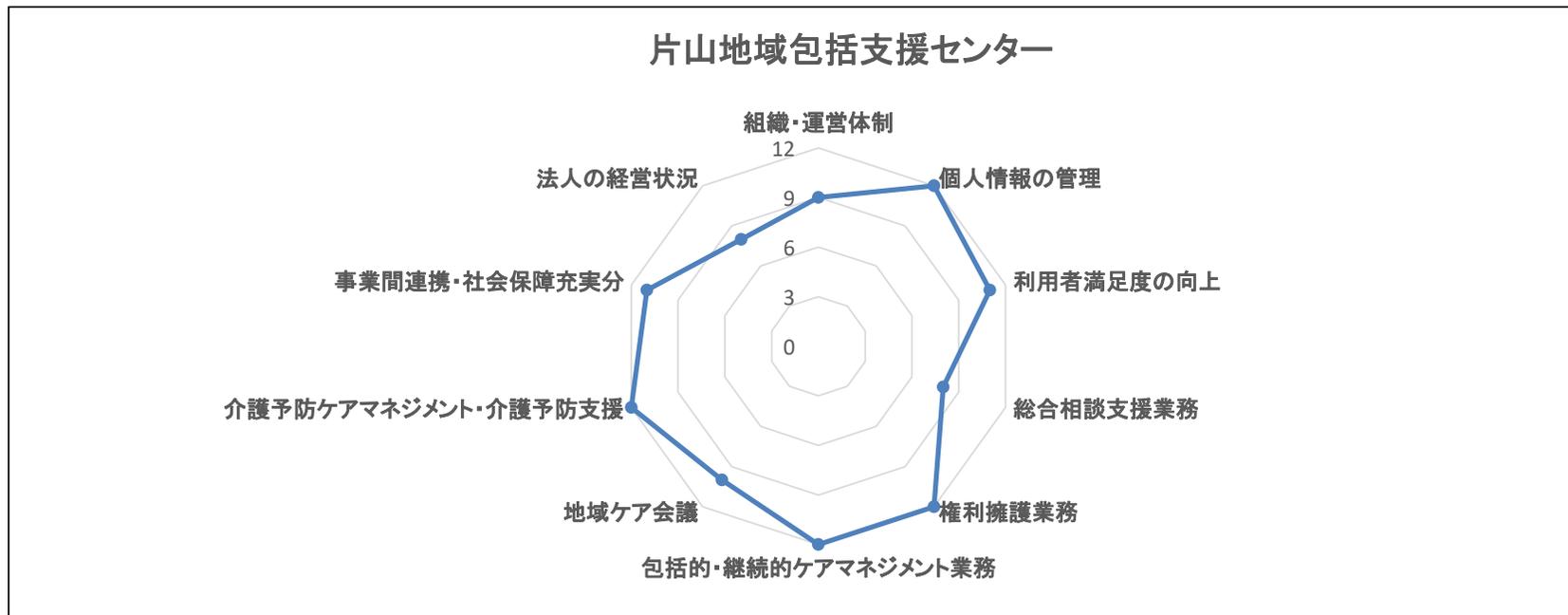
令和3年度吹田市地域包括支援センター運營業務委託事業者の業務実施状況の評価結果

センター名：片山地域包括支援センター

法人名：社会福祉法人 恩賜財団済生会支部大阪府済生会

評価結果 **可**

吹田市地域包括支援センター運營業務委託事業者選定等委員会の委員(外部委員)4名で10項目について評価を行った結果、下記のとおりとなりました。



点数	採点基準
3	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
2	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達している。
1	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達していない。ただし、対応策に取り組んでおり、一定の改善がなされている。又は、今後、改善が見込まれる。
0	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達していない。かつ、これまでの取組で改善が図られておらず、今後、短期的、中期的な取組を進めても、改善を見込むことができない。

評価結果の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・評価点の合計が17点以上の場合は、その委員は事業者の委員評価を可とし、17点を下回る場合は、否としたものとする。 ・各委員の委員評価結果を委託事業者ごとに集計し、その過半数により委託事業者の委員評価を行う。もし、可否同数の場合は、委員会において協議した上、委員長が決する。
<p>※同一項目内で2名以上の委員から0の評価点を受けている場合、当該委託事業者の委員評価結果は否とする。</p>

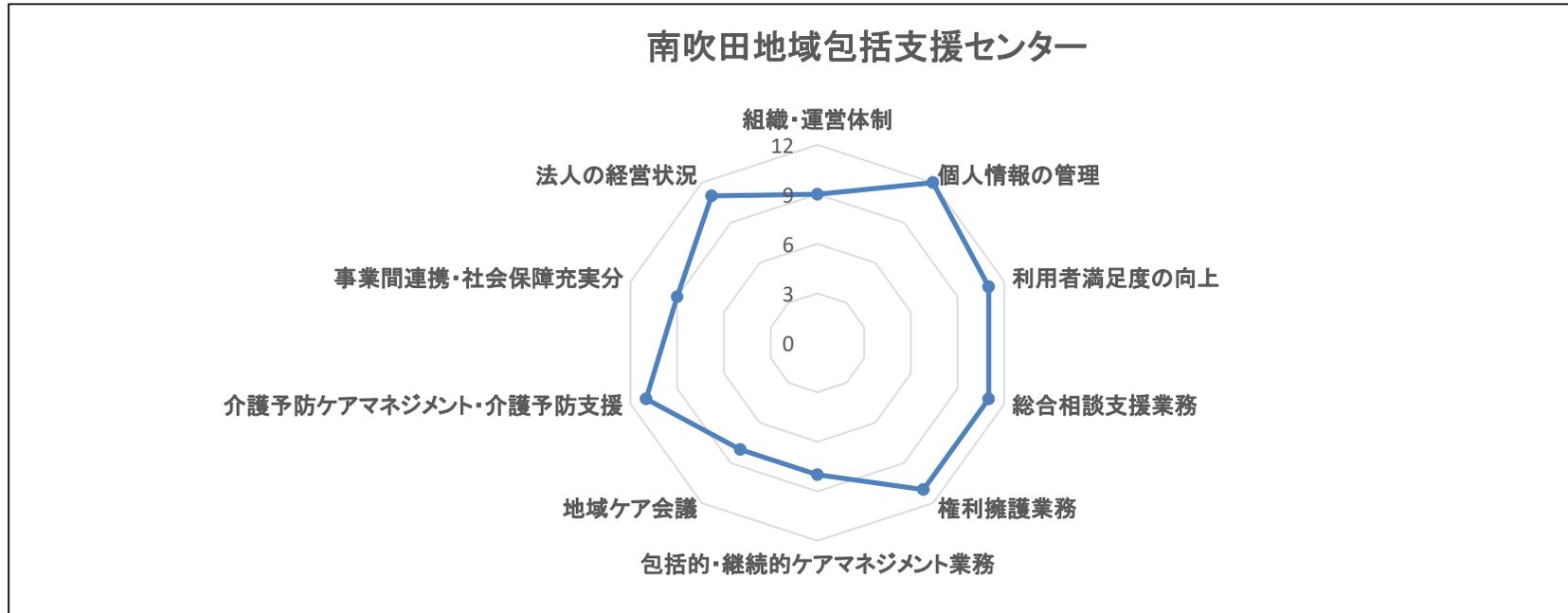
令和3年度吹田市地域包括支援センター運營業務委託事業者の業務実施状況の評価結果

センター名: 南吹田地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 燦愛会

評価結果 **可**

吹田市地域包括支援センター運營業務委託事業者選定等委員会の委員(外部委員)4名で10項目について評価を行った結果、下記のとおりとなりました。



点数	採点基準
3	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
2	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達している。
1	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達していない。ただし、対応策に取り組んでおり、一定の改善がなされている。又は、今後、改善が見込まれる。
0	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められるレベルに達していない。かつ、これまでの取組で改善が図られておらず、今後、短期的、中期的な取組を進めても、改善を見込むことができない。

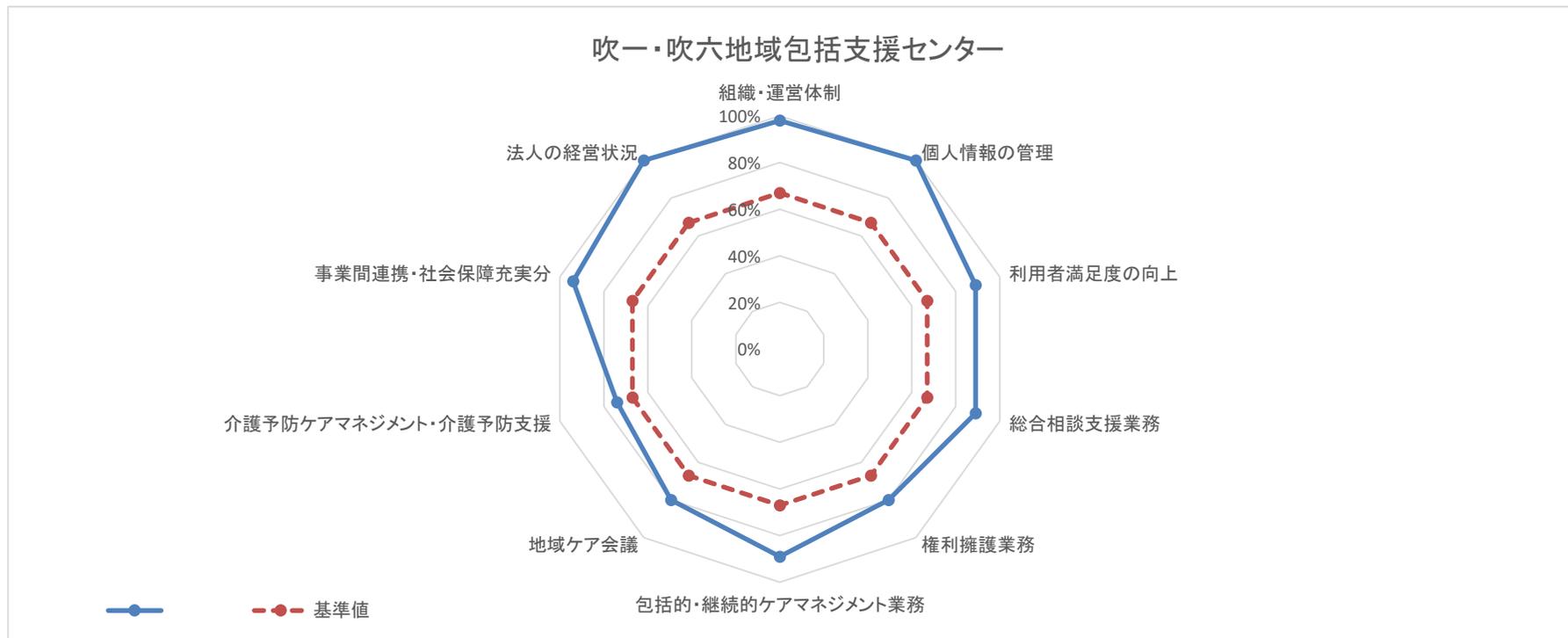
評価結果の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・評価点の合計が17点以上の場合は、その委員は事業者の委員評価を可とし、17点を下回る場合は、否としたものとする。 ・各委員の委員評価結果を委託事業者ごとに集計し、その過半数により委託事業者の委員評価を行う。もし、可否同数の場合は、委員会において協議した上、委員長が決する。
<p>※同一項目内で2名以上の委員から0の評価点を受けている場合、当該委託事業者の委員評価結果は否とする。</p>

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 吹一・吹六地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 燦愛会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	37
B 評価	20
C 評価	0

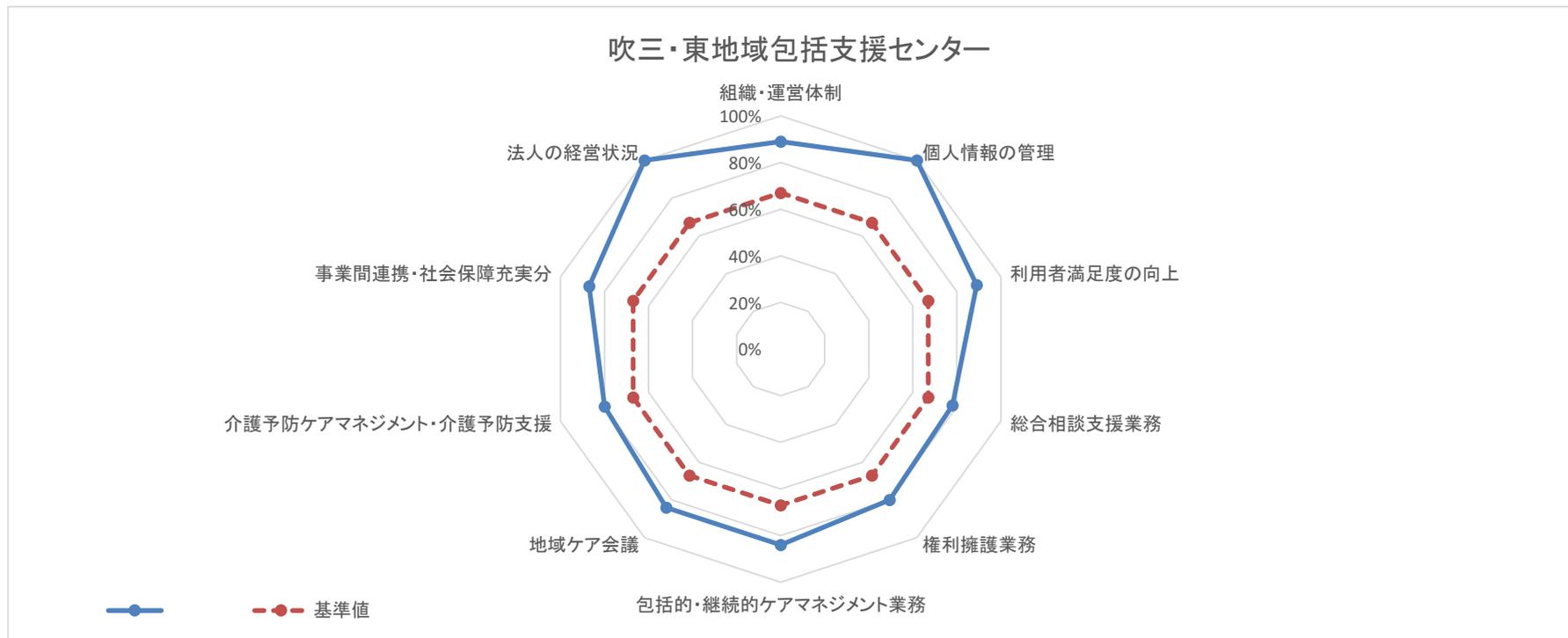
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 吹三・東地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 燦愛会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	32
B 評価	25
C 評価	0

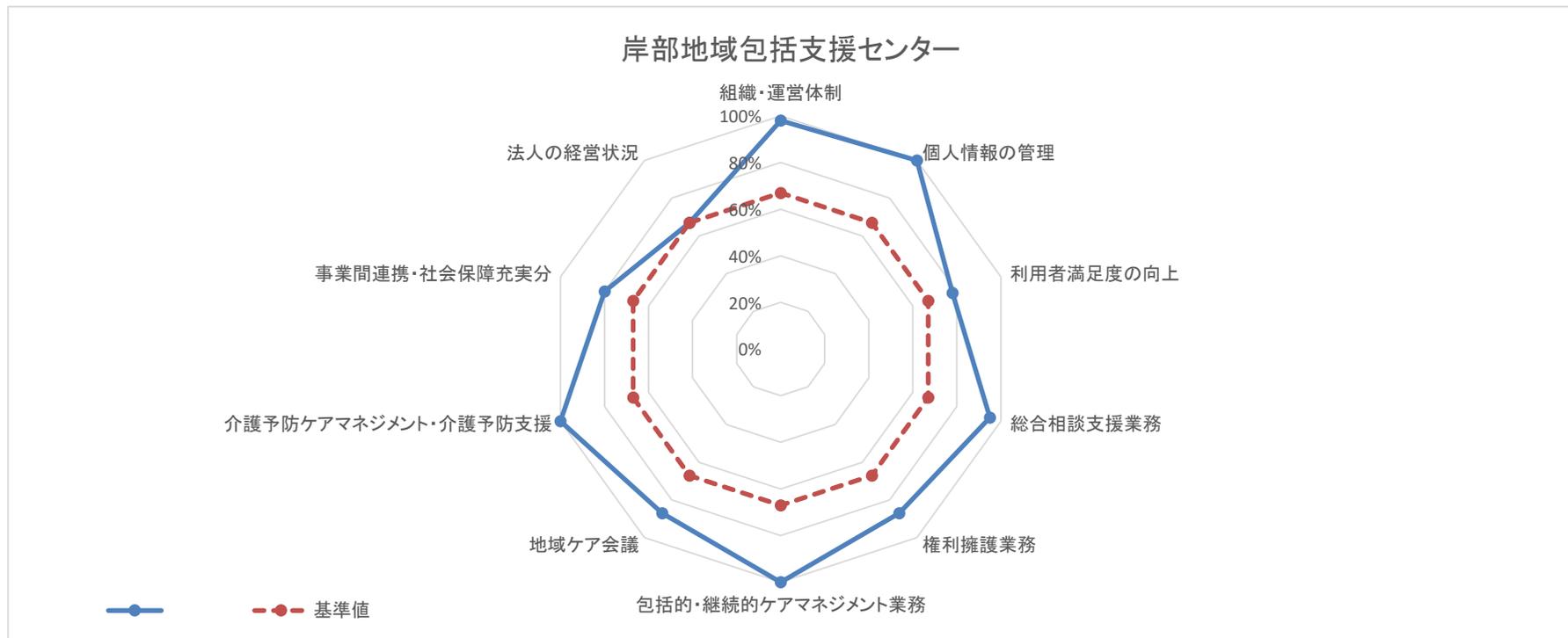
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 岸部地域包括支援センター

法人名: 医療法人 協和会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	43
B 評価	14
C 評価	0

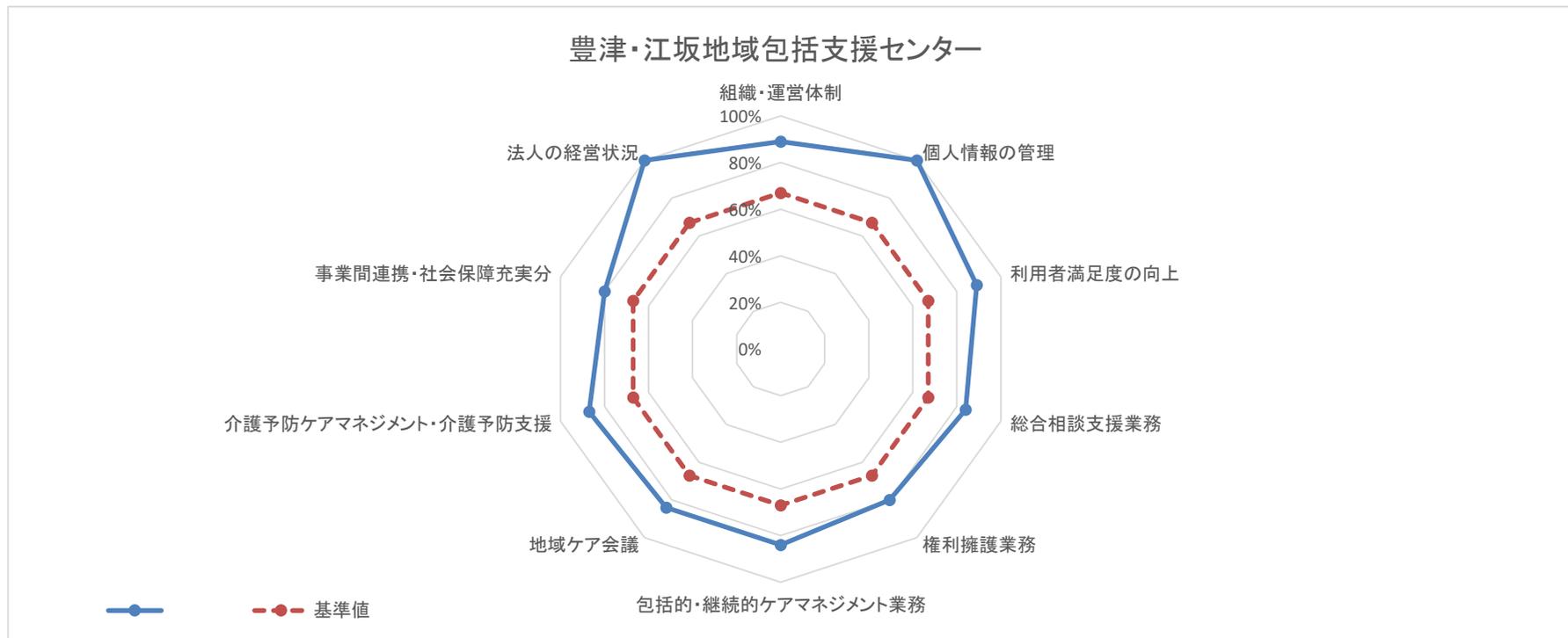
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 豊津・江坂地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 松柏会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	33
B 評価	24
C 評価	0

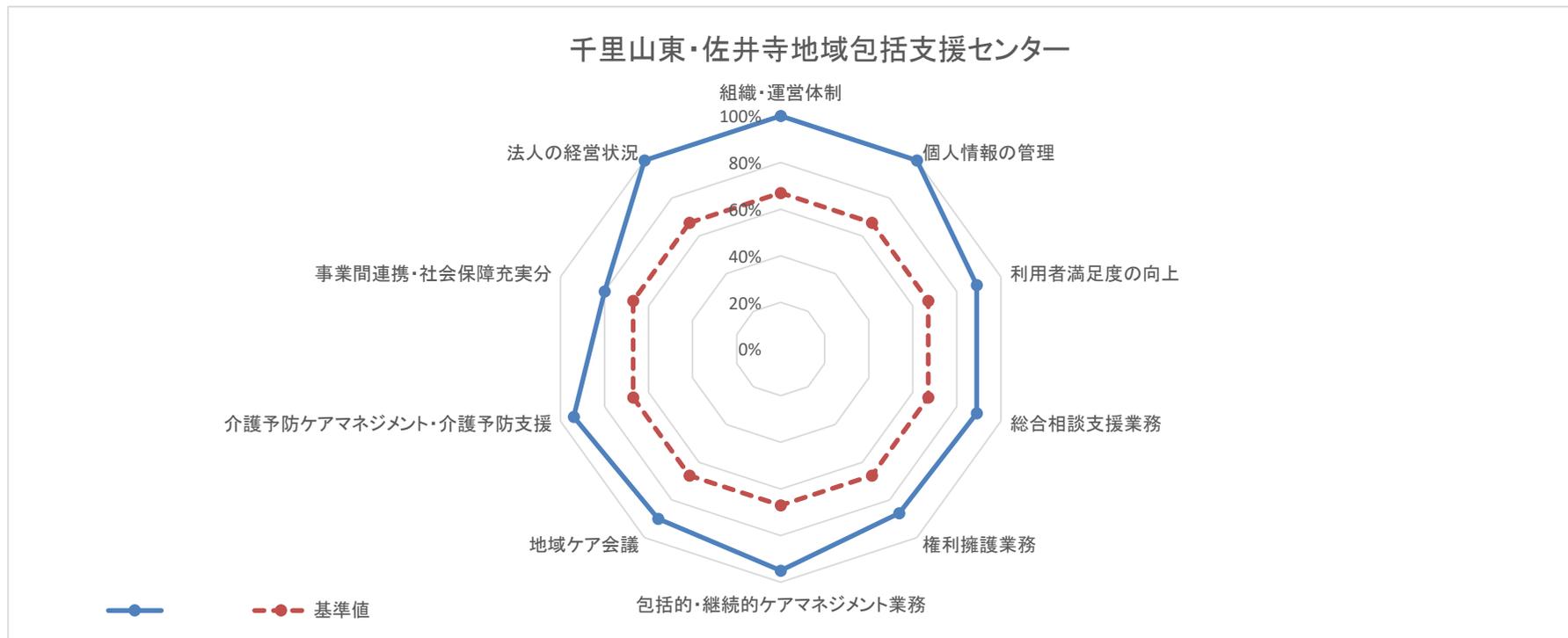
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 千里山東・佐井寺地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 寿楽福社会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	44
B 評価	13
C 評価	0

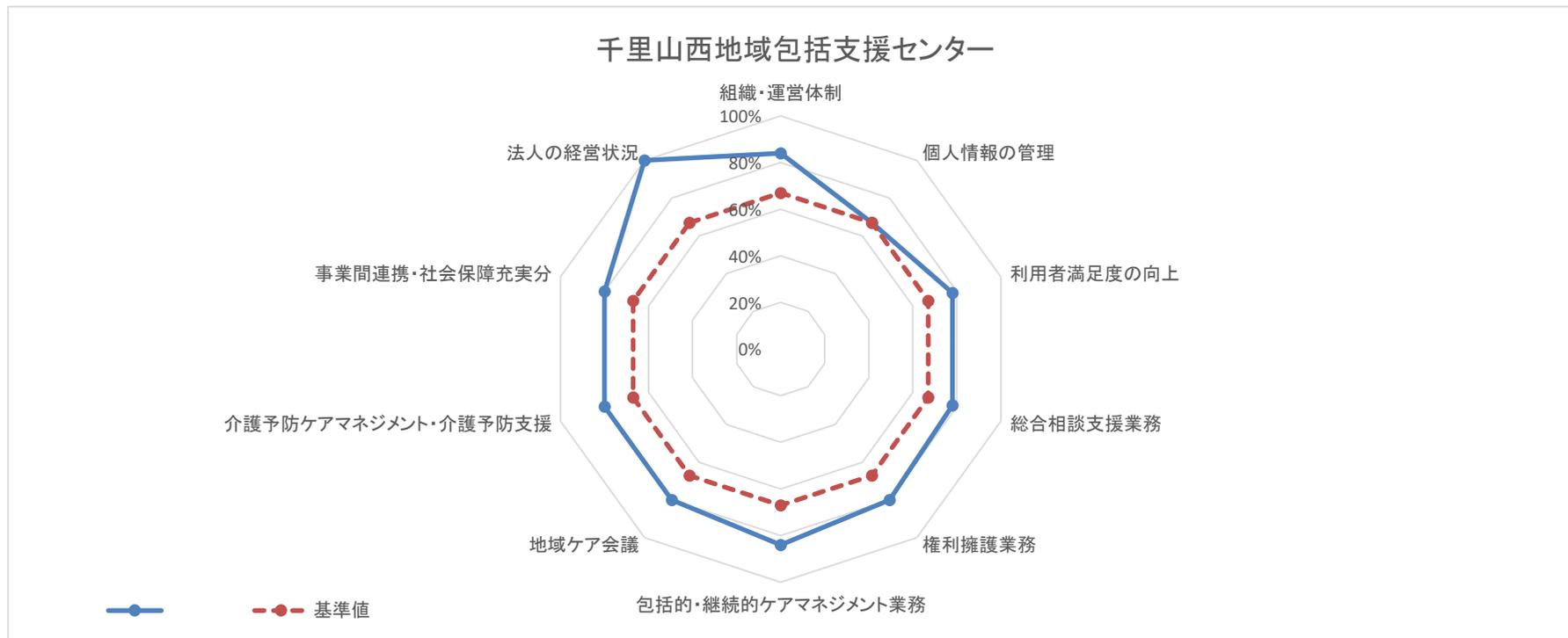
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 千里山西地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 寿楽福社会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	24
B 評価	32
C 評価	1

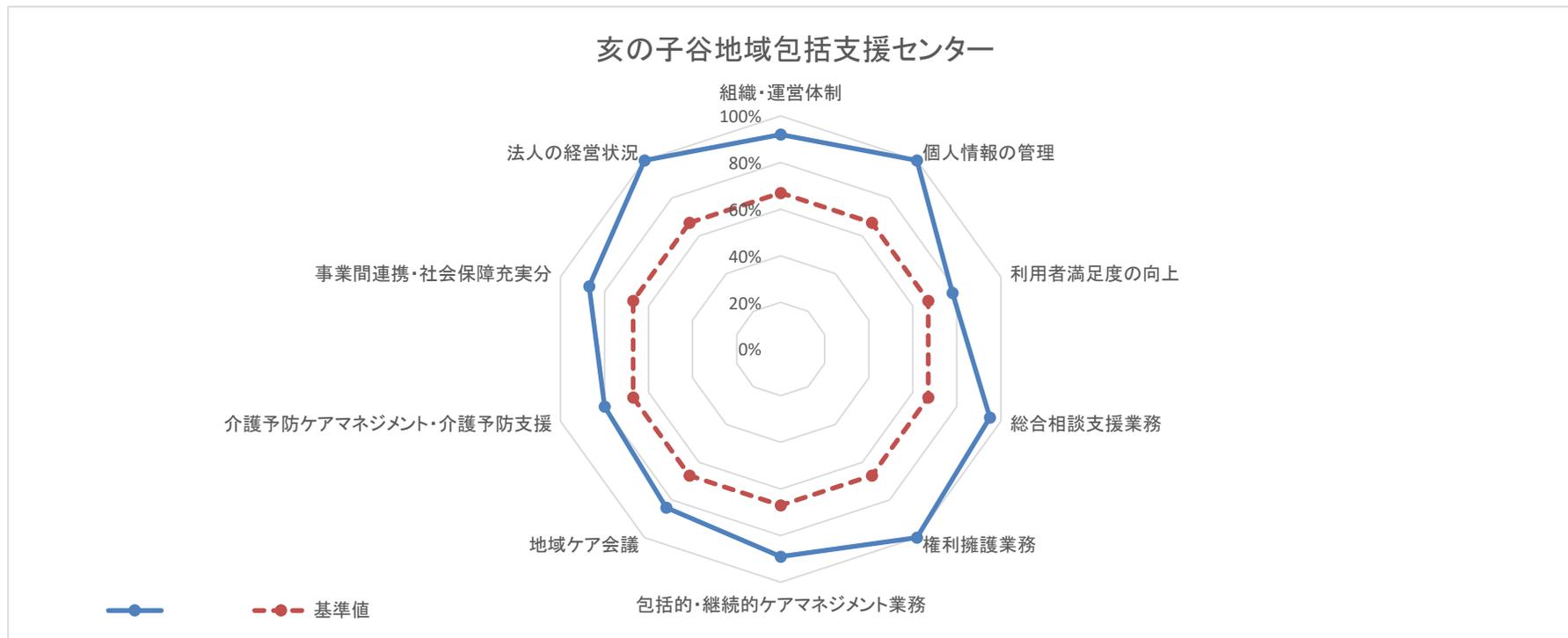
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 亥の子谷地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 こばと会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	39
B 評価	18
C 評価	0

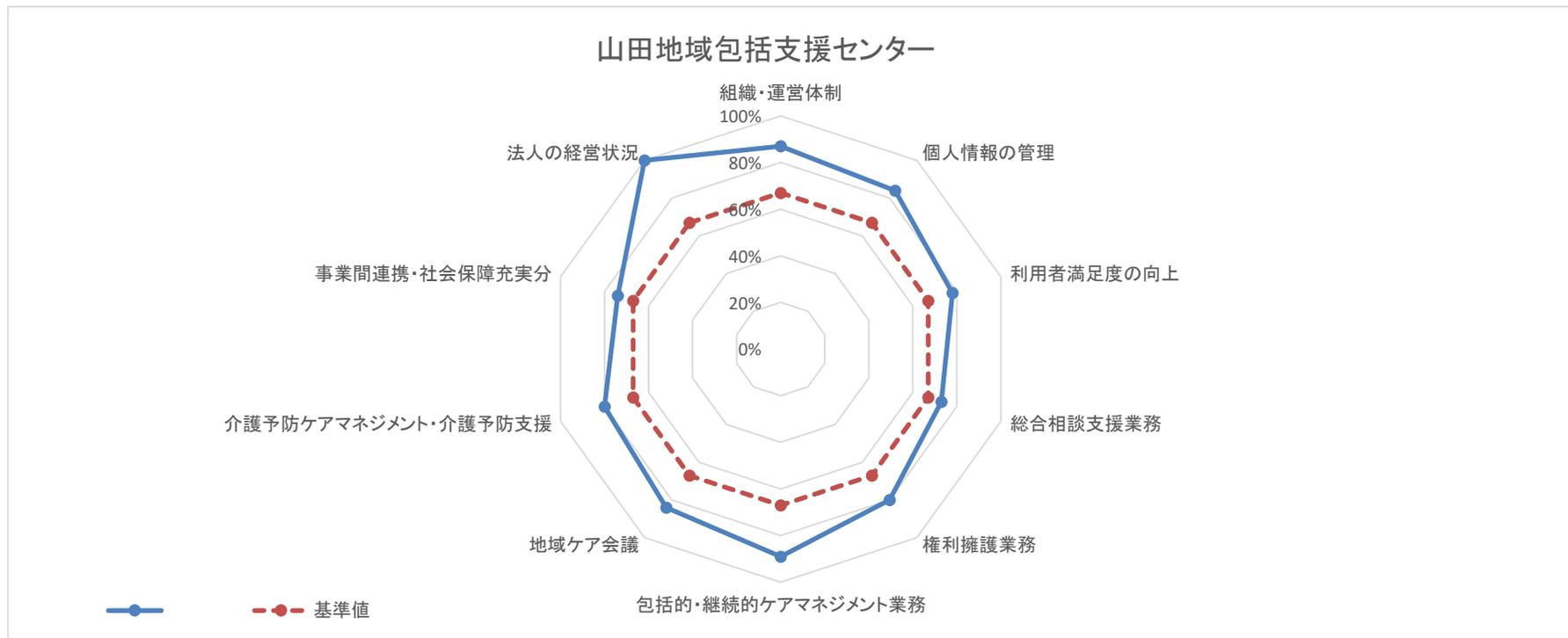
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 山田地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 こばと会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	30
B 評価	23
C 評価	4

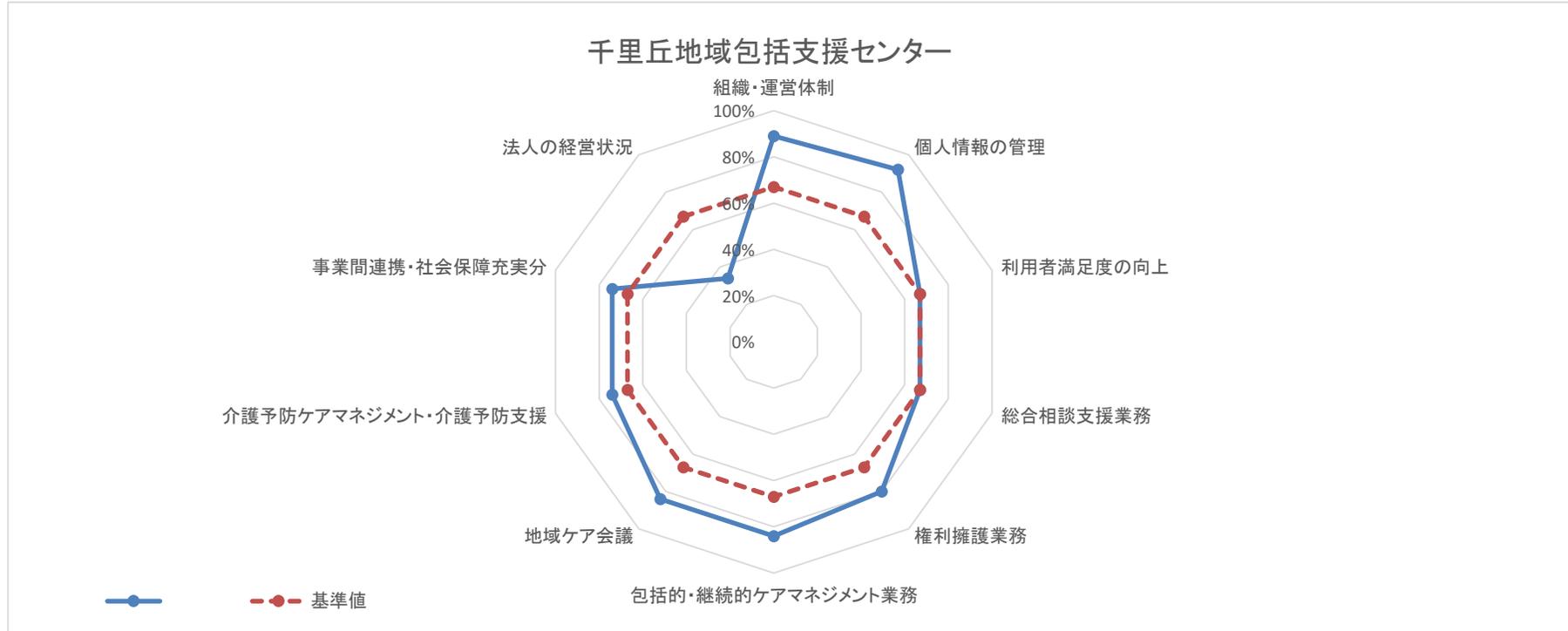
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:千里丘地域包括支援センター

法人名:株式会社 ケア21

評価年度:令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	23
B 評価	33
C 評価	1

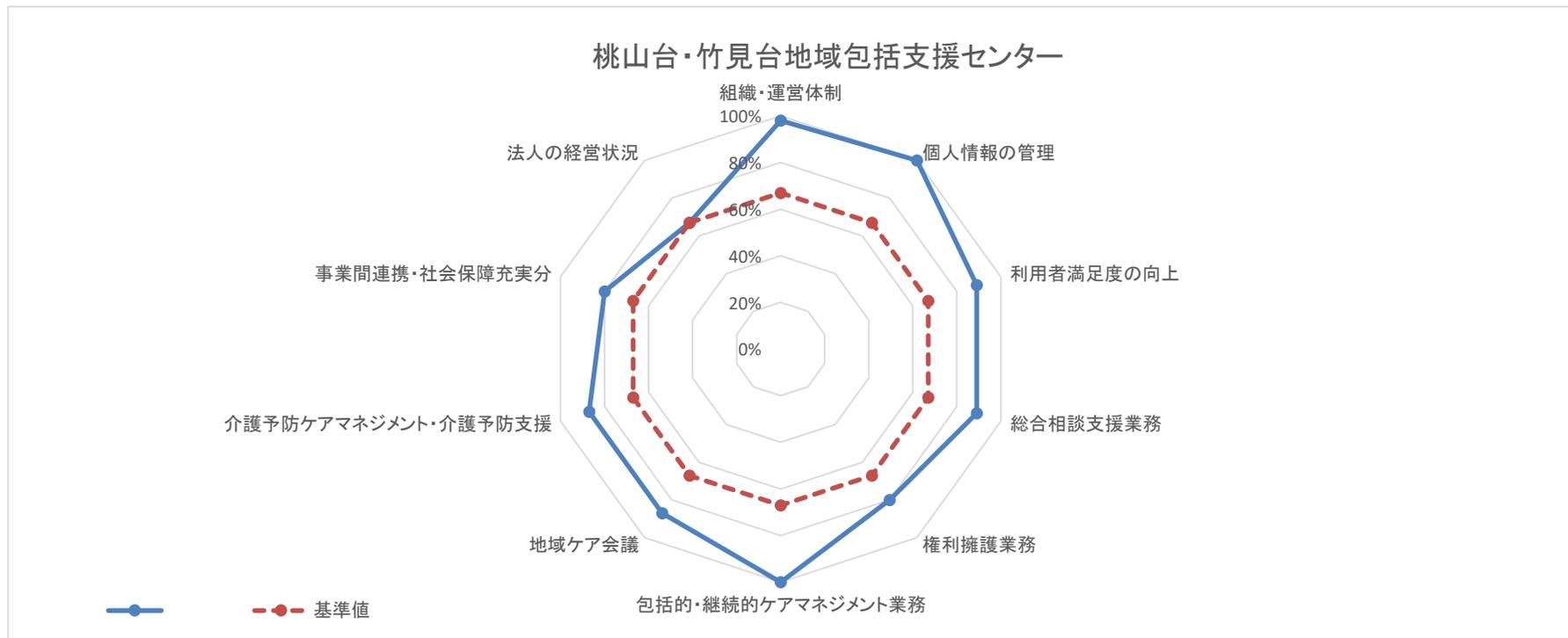
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 桃山台・竹見台地域包括支援センター

法人名: 医療法人 協和会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	40
B 評価	17
C 評価	0

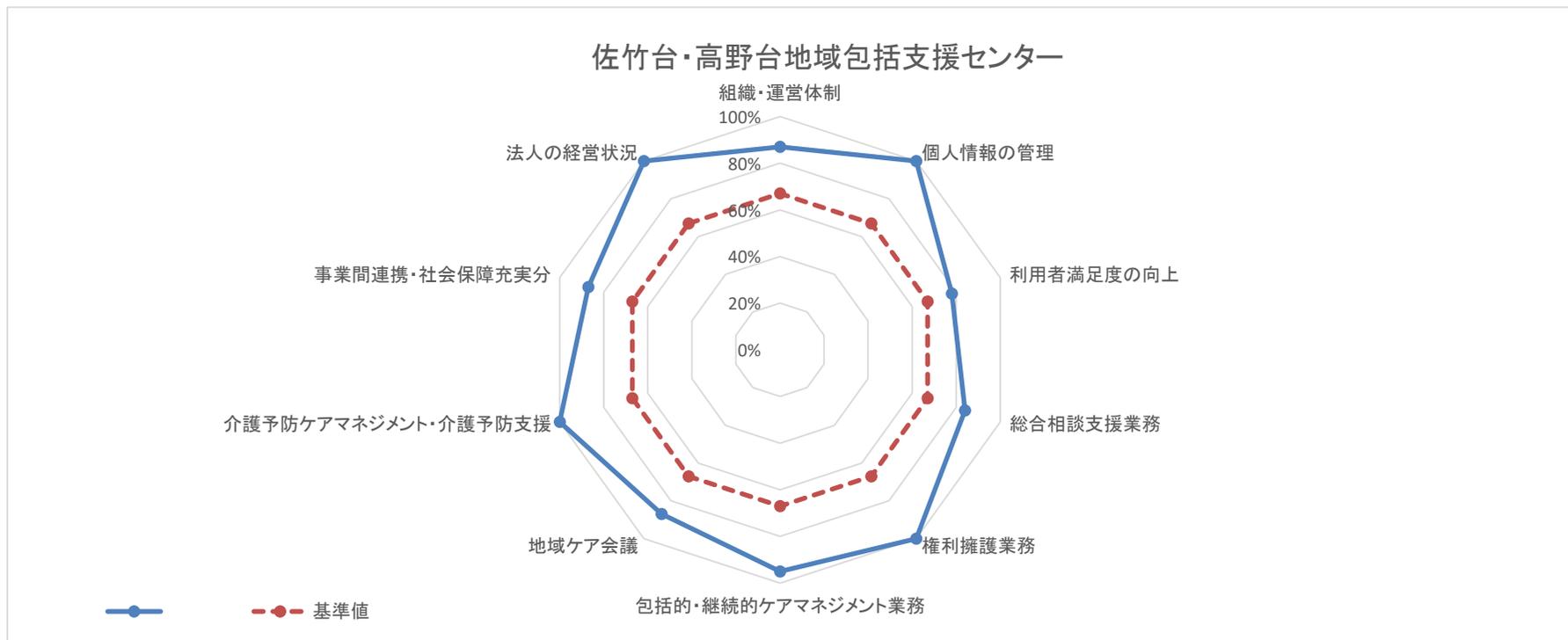
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 佐竹台・高野台地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 藍野福祉会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	41
B 評価	15
C 評価	1

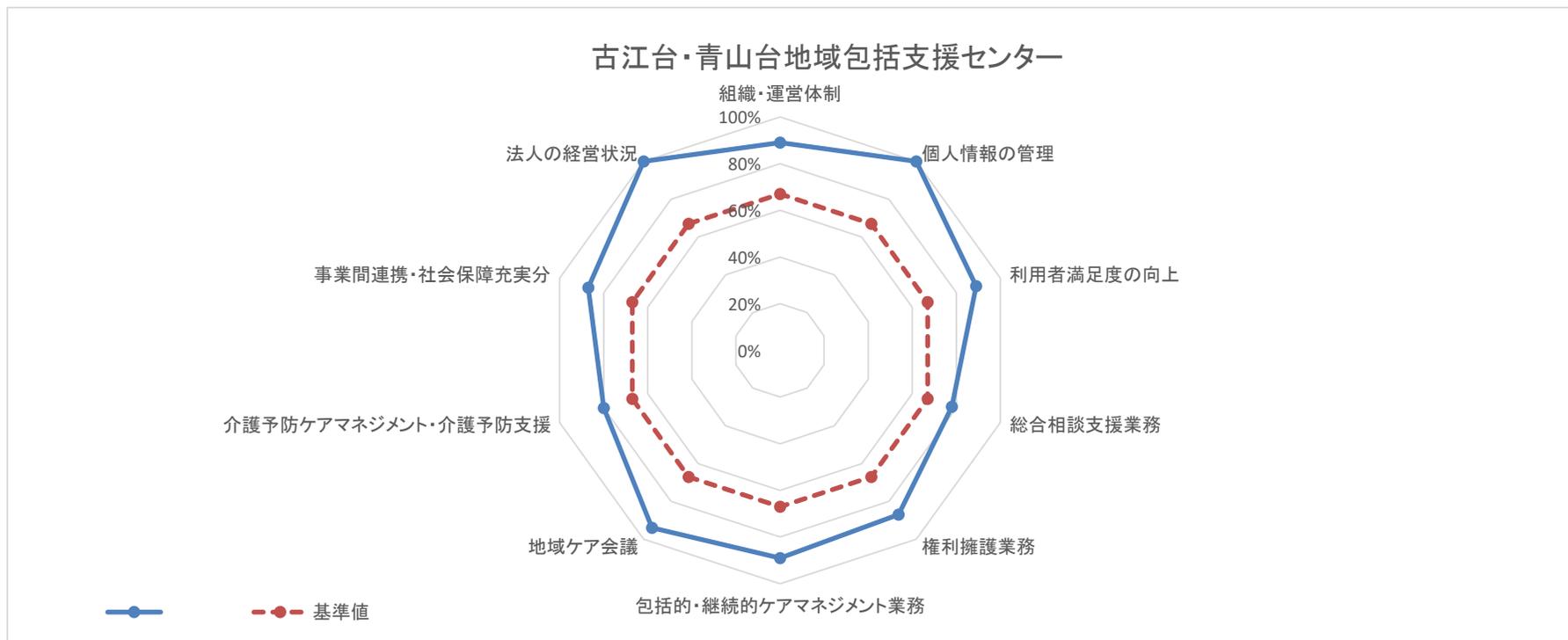
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 古江台・青山台地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 大阪キリスト教女子青年福祉会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	37
B 評価	20
C 評価	0

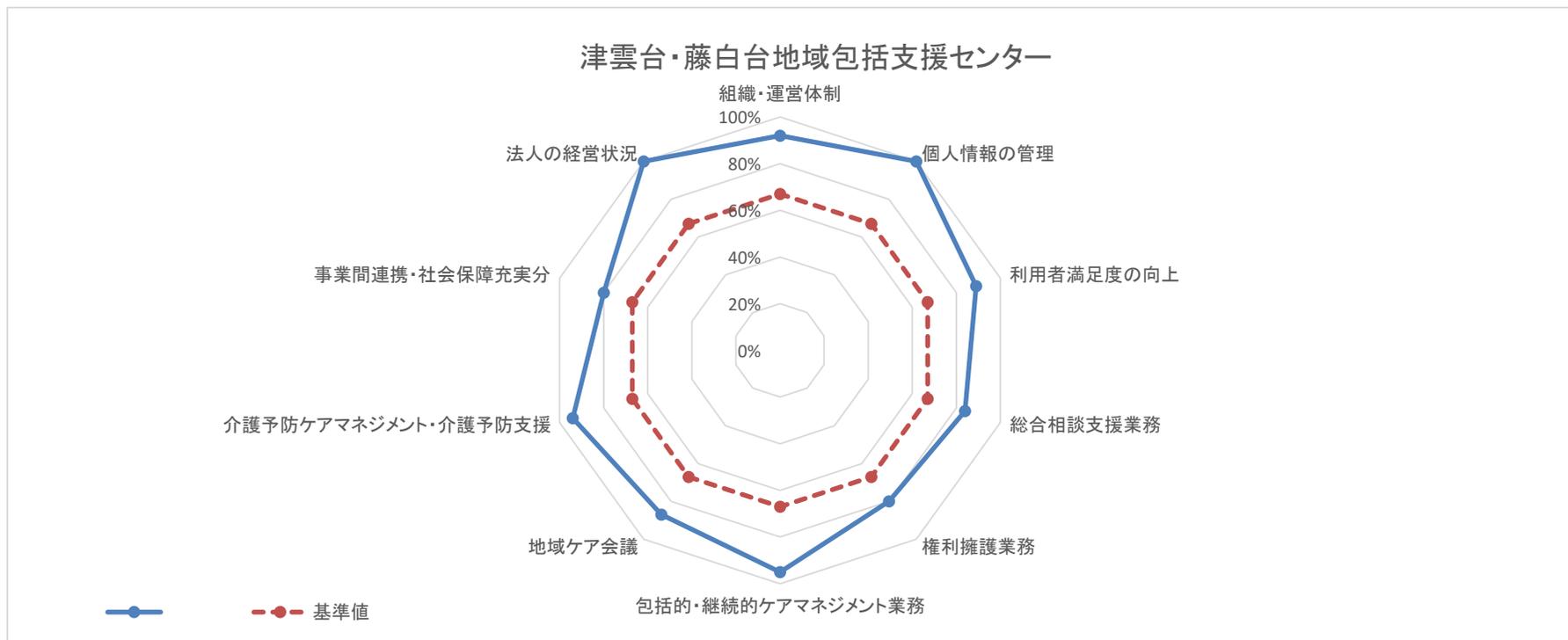
評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

令和3年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 津雲台・藤白台地域包括支援センター

法人名: 社会医療法人 愛仁会

評価年度: 令和2年度



※基準値については、すべての評価項目でB評価の場合のグラフです。

最終評価結果	
A 評価	38
B 評価	19
C 評価	0

評価	
A 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求められる以上に高いレベルに達している。
B 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達している。
C 評価	地域包括ケアシステムの構築に向け、実施業務の内容が、求めているレベルに達していない。

(4) 地域包括支援センター アンケート結果

利用者等の意見を聴取することで、改善すべき点の把握と対応を行うことを目的として、地域包括支援センターを利用する介護支援専門員及び市民を対象にアンケートを実施しました。
アンケート項目は、介護支援専門員及び利用者それぞれ5項目ずつ、満足から不満まで5段階としました。下記は、全項目の満足から不満までの割合を示したもので、具体的な意見等のうち改善を要するものについては、センターにおいて改善に取り組みました。

ア 介護支援専門員を対象としたアンケート結果

<アンケート項目>

- ①センターからの支援や助言(相談しやすい体制や雰囲気、迅速だったか、わかりやすかったか等支援や助言が得られたか)
- ②支援困難ケースへの対応(支援のための課題が的確に整理され、解決への具体的な方向性が示されたか等十分に相談に応じられたか)
- ③ケアマネ塾やケアマネ懇談会等の取組により、ケアマネとしてのスキルアップが図られたと感じるか
- ④地域の社会資源など(民生委員、自治会、インフォーマル社会資源等)の情報提供や助言により、ケアマネとして地域連携がスムーズになったと感じるか
- ⑤委託ケアプランの管理(ケアプラン作成や内容、給付管理について適切な支援が受けられたか)



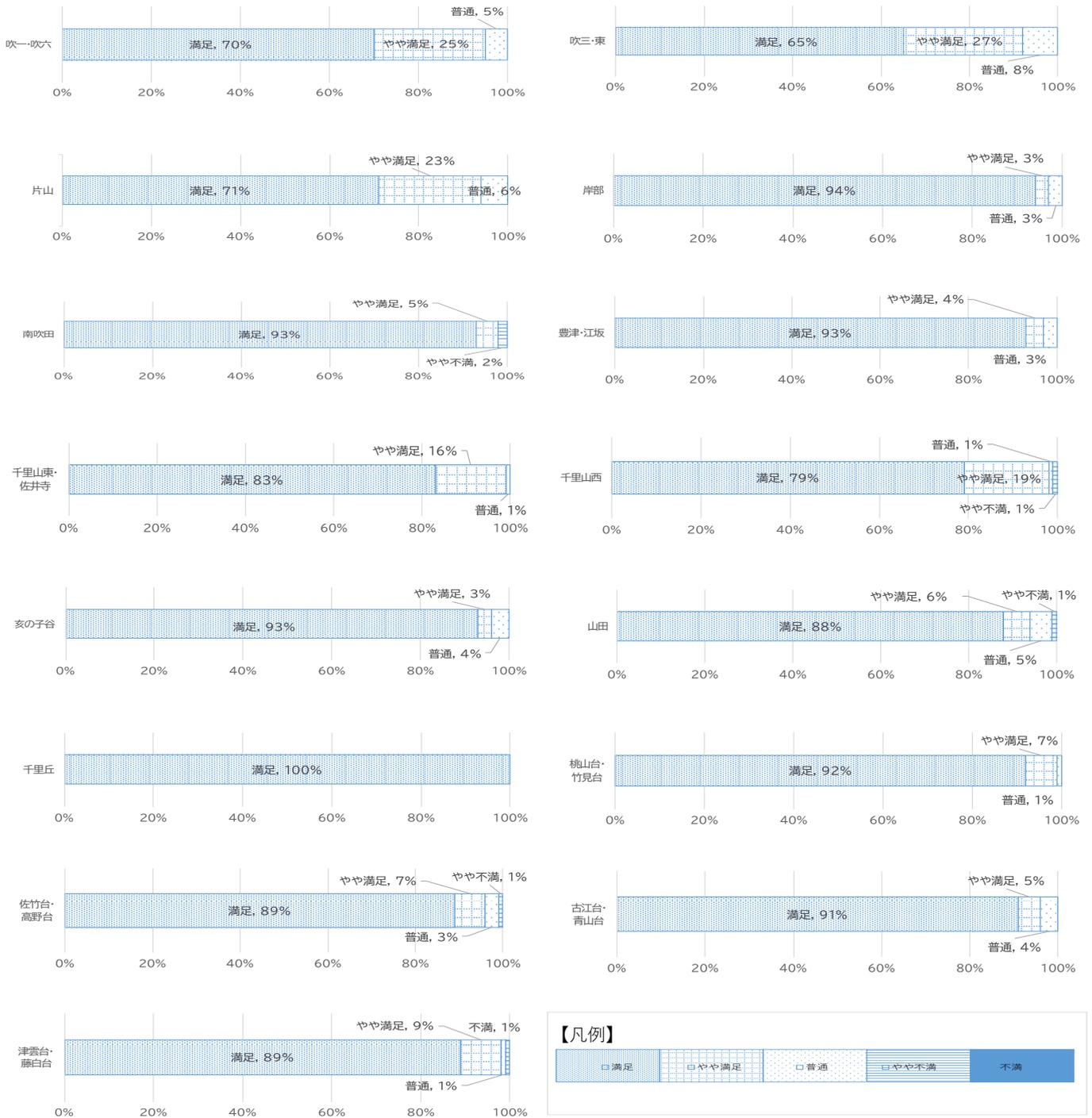
【凡例】



イ 利用者を対象としたアンケート結果

<アンケート項目>

- ①職員の対応はどうでしたか。(ていねいだったか、迅速だったか、わかりやすかったか)
- ②困っていたことや知りたかったことについて、十分な説明や支援がありましたか。
- ③センターに相談したことで、安心することができましたか。
- ④職員の言葉づかい、マナーや身だしなみはいかがでしたか。
- ⑤看板などの案内表示はわかりやすかったですか。



【凡例】



5 令和3年度(2021年度)上半期 地域包括支援センター業務報告

(1) 総合相談支援業務関係

ア センター別総合相談件数

センターは、高齢者やその家族等の総合相談窓口です。
 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けることができるように、地域における適切な介護・保健・医療・福祉の各サービスや、関係機関の利用を調整します。令和2年4月からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、センターへの来所の他、電話等での相談をよびかけています。基幹型センターも含めたセンター全体の件数は昨年度と同程度の実績となっています。

地域名		相談総数		相談件数						相談件数(再掲)			
				権利擁護関係		介護支援専門員からの相談		介護保険サービス等についての相談		(再掲)訪問対応		(再掲)認知症に関する相談	
		2年度	(4/3 ~ 9/30年度)	2年度	(4/3 ~ 9/30年度)	2年度	(4/3 ~ 9/30年度)	2年度	(4/3 ~ 9/30年度)	2年度	(4/3 ~ 9/30年度)	2年度	(4/3 ~ 9/30年度)
JR以南	吹一 吹六	1,760	938	102	79	59	51	1,599	808	376	222	483	288
	吹三 東	1,996	965	325	58	86	33	1,585	874	370	226	574	206
片山・岸部	片山	1,385	819	134	41	30	37	1,221	741	273	108	437	238
	岸部	1,271	631	138	111	146	86	987	434	187	86	268	127
豊南津吹田江坂	南吹田	1,499	690	64	84	182	106	1,253	500	188	122	126	127
	豊津 江坂	1,721	822	69	28	196	114	1,456	680	271	108	480	177
千里山・佐井寺	千里山 東 佐井寺	1,259	712	145	101	183	37	931	574	147	101	262	152
	千里山 西	1,558	849	272	182	111	43	1,175	624	246	78	397	275
山田・千里丘	亥の子 谷	1,410	710	99	45	85	25	1,226	640	66	15	294	186
	山田	1,666	946	115	78	158	101	1,393	767	176	30	439	253
	千里丘	1,032	529	100	71	121	39	811	419	115	54	355	154
千里山・万博・阪大・ワン	桃山台 竹見台	1,999	1,106	76	50	324	94	1,599	962	254	128	599	335
	佐竹台 高野台	1,249	680	38	14	163	71	1,048	595	160	75	220	151
	古江台 青山台	1,517	687	81	69	120	63	1,316	555	242	76	484	197
	津雲台 藤白台	1,296	625	100	41	100	40	1,096	544	199	103	350	176
基幹型センター (高齢福祉室)		2,812	1,034	724	241	100	31	1,988	722	203	85	697	233
合計		25,430	12,743	2,582	1,293	2,164	971	20,684	10,439	3,473	1,617	6,465	3,275

イ 総合相談内訳

(単位:件)

		令和2年度			令和3年度(4月～9月)			
		基幹型センター	15センター	合計	基幹型センター	15センター	合計	
対象者の状況	年齢別	69歳まで	208	1,643	1,851	91	772	863
		70歳台	1,087	7,516	8,603	317	3,511	3,828
		80歳台	1,166	9,999	11,165	512	5,606	6,118
		90歳～	254	1,896	2,150	76	941	1,017
		不明	97	1,564	1,661	38	879	917
		計	2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743
	現況別	在宅	2,155	18,553	20,708	833	9,817	10,650
		入院又は入所中	568	3,937	4,505	183	1,821	2,004
		不明	89	128	217	18	71	89
		計	2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743
	介護度別	未申請・申請中・非該当	990	11,212	12,202	379	6,024	6,403
		事業対象者・要支援1・要支援2	625	4,777	5,402	245	2,236	2,481
		要介護1～要介護5	1,084	5,639	6,723	379	2,874	3,253
		不明	113	990	1,103	31	575	606
		計	2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743
	認知症	認知症有り	697	5,772	6,469	233	3,053	3,286
認知症無し		769	6,441	7,210	282	3,498	3,780	
不明		1,346	10,405	11,751	519	5,158	5,677	
計		2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743	
相談対応の状況	緊急ケア	ケア有り	22	198	220	14	102	116
		ケア無し	2,790	22,420	25,210	1,020	11,607	12,627
		計	2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743
	相談方法	来所	422	3,819	4,241	153	2,093	2,246
		電話	2,086	15,194	17,280	769	7,904	8,673
		訪問	203	3,274	3,477	85	1,548	1,633
		その他	101	331	432	27	164	191
		計	2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743
	相談者	本人	316	5,015	5,331	129	2,685	2,814
		夫	11	697	708	4	343	347
妻		20	1,756	1,776	11	980	991	
息子		52	1,543	1,595	18	673	691	
娘		76	2,811	2,887	25	1,597	1,622	
兄弟姉妹		27	414	441	12	207	219	
子の配偶者		10	552	562	1	210	211	
その他親族(甥・姪など)		60	357	417	3	195	198	
同居者		2	64	66	0	14	14	
民生委員・福祉委員		8	704	712	6	413	419	
警察		39	301	340	26	111	137	
行政機関		190	1,145	1,335	48	556	604	
消防		66	7	73	27	1	28	
近隣住民		27	479	506	6	173	179	
家主		2	59	61	2	16	18	
知人		12	234	246	9	154	163	
ケアマネジャー		69	2,836	2,905	35	1,487	1,522	
介護保険サービス事業者		53	461	514	8	238	246	
民間事業者		27	367	394	9	214	223	
医療機関		34	1,930	1,964	31	1,011	1,042	
認知症初期集中支援チーム		9	185	194	7	132	139	
認知症地域支援推進員		0	8	8	0	0	0	
社協		5	243	248	3	81	84	
他地域包括		1,600	213	1,813	590	126	716	
その他		97	237	334	24	92	116	
計		2,812	22,618	25,430	1,034	11,709	12,743	

ウ 各種サービス等受付件数

センターは、地域の高齢者やその家族、関係者の相談に対応するとともに、令和元年度から、高齢者にかかる介護・福祉の各種サービスの申請について、地域に身近な受付窓口としての機能を担っています。サービス利用の相談から申請までをワンストップで受け付けることで、迅速かつ適切なサービス提供につながります。
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護保険及び高齢者在宅福祉サービス関連についてはセンターや市役所へ来所いただくなくても申請できるように、関係書類を記入例とともに市ホームページに掲載しています。

ブロック名		サービス等受付件数					
		令和2年度			令和3年度 4月～9月		
		介護保険サービス関連	高齢者在宅福祉サービス関連	合計	介護保険サービス関連	高齢者在宅福祉サービス関連	合計
J R以南	吹一・吹六	402	92	494	218	43	261
	吹三・東	387	50	437	206	10	216
片山・岸部	片山	281	54	335	170	31	201
	岸部	504	82	586	269	18	287
豊南津・吹田・江坂	南吹田	153	14	167	97	5	102
	豊津・江坂	236	18	254	139	10	149
千里山・佐井寺	千里山東佐井寺	302	34	336	174	8	182
	千里山西	474	26	500	254	27	281
山田・千里丘	亥の子谷	672	153	825	397	47	444
	山田	317	12	329	224	10	234
	千里丘	396	53	449	165	14	179
千里ニュータウン 万博・阪大	桃山台 竹見台	921	256	1,177	438	95	533
	佐竹台 高野台	405	91	496	327	93	420
	古江台 青山台	392	67	459	227	32	259
	津雲台 藤白台	462	39	501	256	15	271
合計		6,304	1,041	7,345	3,561	458	4,019

エ 総合相談事例

相談者は、本人や家族のほか、近隣住民、関係機関、病院、ケアマネジャー等となっています。家族を含め何らかの問題があり、権利擁護や金銭管理、医療連携、障がいサービス等重複した支援が必要な事例や、精神疾患がある事例、また、介護保険サービスの利用を拒否される事例等も増えています。本人、家族の意向に寄り添いながら、センターが中心となり、関係機関や地域等と連携、調整を行いながら、本人の希望する生活を支援しています。

①	概要 相談の	施設職員からの相談。親族から施設入所中の本人を自宅で介護したいと申し出があった。事情があり措置入所している経緯や施設の利用料支払いの遅れも続いている。親族は知的障がいの子を含めた5人世帯。
	対応	親族と面談したところ、今まで本人に経済的支援をしていたので、今後は本人の年金を自分たちの生活費に充てたいと話す。親族世帯の家計については日常生活自立支援事業で金銭管理の支援を受けることや弁護士に相談すること、本人には成年後見制度申立を提案した。
	結果	本人は成年後見制度の利用を開始。現在も施設で安定して生活している。親族世帯の金銭管理については親族の子が行いたいとの意向がある。今後も社会福祉協議会や障がい者相談支援センター等と情報共有し、随時対応する。
②	概要 相談の	民生・児童委員からの相談。本人は知的障がいのある子との2人世帯。子が怪我で離職したことで、生活が困窮していると頻回に相談がある。また、子は地域活動も行っているがそのことで苦情が入ることもあり、本人は一人で悩んでいる。
	対応	面談する中で、本人には高額の前貯金があり、不安の原因は金銭面ではなく障がいのある子の行く末であることがわかる。本人が以前相談していた生活困窮者自立支援センターとも連携し、年金と前貯金で生活は可能であることを説明。子の支援については障がい者相談支援センターに繋ぐ。
	結果	子は精神障がい者保健福祉手帳を取得し、障がい年金を受給予定。また作業所に就労が決まる。子の自立に向けた道筋ができたことで、本人は精神的に安定。地域の見守りもあり、子との生活を継続している。
③	概要 相談の	配偶者からの相談。元々猜疑心が強く頑固な性格だが最近突発的に怒り、配偶者に対して執拗に怒鳴り続けるようになった。思い込みや物忘れも増え、認知症を疑うが家族から受診を勧めると激怒するため困っている。
	対応	配偶者への健康相談という名目で認知症初期集中支援チームと一緒に自宅を訪問。本人、配偶者と面談し、話し合う中で本人も受診に合意されたため、もの忘れ外来への受診に繋げた。

	結果	認知症ではないが脳梗塞の白質病変が多数見つかった。その影響で感情が不安定になりやすいと診断があり、通院を継続することとなった。今後はひろばd e体操への参加を促す予定。
④	概要 相談の	病院相談室MSWからの相談。これまで大きな病気にかかったことがなく通院歴もなかったが、癌の転移が分かった。家族は自宅療養、自宅看取りを希望。介護保険は申請中であるが、早めに特殊寝台が必要で、在宅医療、訪問看護等を検討している。
	対応	本人は身の回りの事は自分でできる状態なので、認定結果が要介護、要支援ともに対応ができ、本人、子の双方が病気の相談ができるように医療系資格のあるケアマネジャーを案内した。
	結果	担当ケアマネジャーが、本人、子に寄り添い通院同行や往診、介護保険サービスを手配し、自宅で子が看取られた。子は思い残すことはないと言ったケアマネジャーの対応に満足していた。
⑤	概要 相談の	子からの相談。本人の物忘れが気になり、脳神経外科で検査を受けたが脳に顕著な萎縮は認められなかった。しかし、家族の心配は解消されない状況。体重の減少もみられた。
	対応	訪問して状況確認を行う。コロナ禍で体育館での体操教室に参加が出来なくなったため、はつらつ体操教室参加の提案をする。物忘れはあまり感じられなかったが、親族が亡くなったことで精神的な落ち込みがあるようだったので、専門医受診を促した。
	結果	はつらつ体操教室参加への支援を行い、継続して参加することで、少しずつ元気を取り戻している。新たないきいき百歳体操グループを本人、子に案内し参加に繋がった。また、メンタルクリニックを受診され、鬱病の疑いで治療開始となり、精神的にも安定してきている。
⑥	概要 相談の	マンション理事会からの相談。本人が深夜に大きな音を立てて困っている。また、自宅付近でも頻繁に道に迷い家に帰れない様子が見受けられる等、認知症状の疑いがあり心配。
	対応	センターが何度も自宅へ訪問し、面談を試みるが拒否され本人に会えず。親族や認知症初期集中支援チームと協力しながら認知症専門医療機関への受診や介護保険申請を行った。
	結果	専門医より入院治療の提案もあったが、本人、親族は在宅生活を希望。要介護認定が出たためケアマネジャーを選定し、介護保険サービスを利用しながら在宅生活を継続中。今後はケアマネジャー支援で関わる。

⑦	概要 相談の	親族から保健所経由で相談。高齢世帯で子はなく、配偶者に依存して生活していたため、配偶者の死去後、独語や妄想が増えた。
	対応	保健所、認知症初期集中支援チーム、入所予定の施設ケアマネジャーと連携して精神科入院に繋げた。統合失調症で在宅復帰は困難と診断され、退院後は施設入所予定であったが、本人が強固に拒否し在宅生活となった。介護保険サービスの利用をすすめるも理解が得られず、民生・児童委員と連携して本人の状況把握を定期的に行った。
	結果	本人、親族に成年後見制度申立の説明を行い親族申立の同意を得た。在宅生活が困難な状況となっているため、今後は施設入所を目標に関係機関と連携する。
⑧	概要 相談の	本人の職場の上司からの相談。定年後再雇用で働いていたが、仕事の不手際が目立ったため、上司が受診に付添い若年性認知症と診断された。退職予定のため、今後受診の付き添いが出来ない。本人には家族がいるが、全員が何らかの障がいを抱えている。
	対応	センター職員が受診に付き添い医師と面談。自立支援医療、障がい区分認定等本人に合ったサービスの相談を行った。通院同行等についてはセンターから障がい者相談支援センターに支援を依頼する。
	結果	介護保険サービスではなく、障がい福祉サービスを利用し、通院同行や作業所への通所が可能になった。今後は障がい者相談支援センターが中心となり支援を行うが、必要に応じて連携する。その他家族に関しても、別居の親族がキーパーソンとなることを確認し、関係機関が一体的に必要な支援を行う。
⑨	概要 相談の	親族からの相談。「お金を盗まれた」と警察を呼んだり、幻覚症状が見られ認知症が疑われる本人を、同居の配偶者と近くに住む子が支援していたが、配偶者と子が同時に緊急入院となった。
	対応	本人、親族と面談。決まった家事は自力で可能だが、服薬、金銭管理ができていないことがわかった。親族は子育て世代で積極的な支援が難しい状況。介護保険申請や医療機関と連携し支援体制を整えるが、他者の関わりを拒否する姿が見られたため、本人の状態を考慮しながら、慎重に関係性の構築に努めた。
	結果	本人の身体状況が悪化し、通院が困難になったタイミングで往診医やケアマネジャーが介入し、サービスの調整を行う。配偶者、子は退院の見込みがなく、今後本人の支援をするのは難しいため、成年後見制度申立について検討し、総合的な支援を進める。

⑩	概要 相談の	子から病院相談室 MSW 経由で相談。本人は肺気腫と両膝関節症で痛みが酷く歩行困難のため、訪問介護の利用を希望。子は同居であるが、てんかんがあり歩行も不安定で支援ができない。
	対応	本人と子、双方に支援が必要と判断。本人は介護保険申請の手続きを行い、子の支援については障がい者相談支援センターと連携する。最初、子は自身の支援を拒否していたが、面談を重ねることで理解が得られた。
	結果	本人に要支援認定が出たが腸炎で入院。退院後状態が悪化したため、区分変更申請を行う。本人の意向やニーズを踏まえ、ケアマネジャーを選定。本人は介護保険サービス、子は障がいサービスを利用し、在宅生活を継続している。
⑪	概要 相談の	社会福祉協議会からの相談。視力低下で身体障がい者手帳所持。独居で子との関係が悪く、日常的な支援を受け入れない。記憶力も低下し同じことを繰り返す。拒否があり介入が出来ない状態。
	対応	センターから連絡を入れ困りごとを聞くと、自身の障がいについて話されたため、障がい者相談支援センターと同行訪問する。介護保険申請及び、介護保険サービスでは利用できないサービスを補うため、障がい区分認定の申請を行う。介護認定が下りるまでは障がいサービスの暫定利用を開始する。
	結果	要介護認定が下り、担当ケアマネジャーを選定。今後はケアマネジャーを窓口とし、介護保険サービスと障がいサービス双方で支援していく。サービスを利用することで安心して独居生活を送れている。
⑫	概要 相談の	自治会長からの相談。認知症の疑いのある独居高齢者がいる。電気料金の支払いができていないのか、2、3 日前から電気が点かない状態。
	対応	訪問すると、1週間前から電気が止まっていた。電力会社から何度か通知があり、ガスの停止予告通知も届いていた。本人は生活保護費が入る通帳から、光熱費が引き落とされる通帳に毎回現金を移していたが、それが出来なくなっていたためだと分った。
	結果	電気・水道・ガスの支払い確認を行い、未納の分は本人と一緒に支払う。生活福祉室の CW や子にも連絡を入れ、生活の立て直しを支援する。平行して認知症専門医に繋ぎ、介護認定を受け、介護保険サービスを利用しながら在宅生活が続いている。

⑬	概要 相談の	病院相談室 MSW からの相談。脳腫瘍の後遺症で左半身麻痺がある方の退院支援をして欲しい。要支援認定を受けており、時間をかければ移動は可能。本人は病識がなく介護保険サービス利用の希望なし。
	対応	自宅を訪問。本人の状況と住宅環境の確認を行う。配偶者からは手すりの設置と、本人が転倒しないか、いつも気を張って生活しているとの相談あり。住宅改修の手続き中に本人の病状が悪化したため、区分変更申請の支援と介護保険サービス利用について再度本人、配偶者に提案。了承を得てケアマネジャーを選定する。
	結果	要介護認定を確認。ケアマネジャーに支援を引き継ぐ。ケアマネジャーや訪問看護が関わり、相談できる体制が整ったことで、配偶者の不安も軽減され、在宅生活が継続されている。
⑭	概要 相談の	ケアマネジャーからの相談。身寄りなし。退院後から支援を開始したが、金銭面の管理ができておらず、未払金があり、所持金もないことが判明した。十分な年金収入があり、利用できる経済的支援が見つからない。
	対応	年金支給日までの間、地域の商店、介護保険事業所の善意の協力を得て、生活支援体制を作ったが、病状が急変し再度入院。病院相談室 MSW と連携し、成年後見制度申立と同時に司法書士に金銭管理等の委託契約を依頼した。
	結果	本人がキャッシュカードの暗証番号を忘れており、支給日に年金を引き出せなかった。容態が安定したので転院する際に銀行で手続きする予定であったが、病状が急変し死去された。未払い金や介護保険サービス利用料、入院費の滞納等に関しては弁護士との相談となった。
⑮	概要 相談の	配偶者からの相談。数か月前から幻聴や妄想があり家の中をウロウロしている。脳神経外科で脳の萎縮はないと言われて薬をもらったが、変化がない。
	対応	訪問し状況確認。食事が摂れておらず嘔吐もあり薬が飲めていない可能性が高い。受診に連れていくことも負担と配偶者の訴えがあり、精神科往診医を手配。介護保険申請を支援する。
	結果	要介護認定が出るも、本人がデイサービスの利用を拒否。配偶者と共に毎日散歩に行く生活をしている。幻聴や妄想は続いているが、定期的に往診医が入り精神面の相談ができる環境になったことで配偶者の安定も図られ、在宅生活を継続している。往診医と連携を取り、状況に応じて対応する。

(2) 権利擁護業務関係

ア センター別相談件数(新規・継続件数)

高齢者虐待対応については、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、市とセンターは高齢者虐待の相談や通報への対応及び養護者の支援等を行っています。

ブロック名		件数									
		虐待関係						消費者被害関係		成年後見関係	
		令和2年度			令和3年度 (4月～9月)			令和2年度	令和3年度 (4月～9月)	令和2年度	令和3年度 (4月～9月)
		相談対応 件数	コアメンバー 会議(※1) 開催回数	認定件数 (※2)	相談対応 件数	コアメンバー 会議(※1) 開催回数	認定件数 (※2)	相談対応 件数	相談対応 件数	相談対応 件数	相談対応 件数
J R 以 南	吹一 吹六	70	6	4	37	2	1	2	2	30	40
	吹三 東	151	14	4	37	6	3	1	1	173	20
片 山 ・ 岸 部	片山	113	21	7	19	2	0	0	0	21	22
	岸部	100	12	4	26	5	1	1	0	37	85
豊 南 津 吹 ・ 江 田 坂	南吹田	43	14	5	80	8	2	0	0	21	4
	豊津 江坂	23	3	1	18	5	1	0	0	46	10
千 里 山 ・ 佐 井 寺	千里山東 佐井寺	3	0	0	8	0	0	0	0	142	93
	千里山西	171	6	4	134	8	2	7	5	94	43
山 田 ・ 千 里 丘	亥の子	61	6	2	0	0	0	0	1	38	44
	山田	77	9	2	55	5	2	12	1	26	22
	千里丘	61	5	2	61	12	4	0	1	39	9
千 里 万 博 ニ ュ ー ・ 阪 大 ウ ン	桃山台 竹見台	19	3	1	7	1	0	0	0	57	43
	佐竹台 高野台	25	9	4	3	5	3	2	0	11	11
	古江台 青山台	47	4	4	55	2	0	4	1	30	13
	津雲台 藤白台	44	12	4	22	3	3	1	0	55	19
高 齢 福 祉 室 基 幹 型 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー		502	—	—	205	—	—	2	0	220	76
合 計		1,510	124	48	767	64	22	32	12	1,040	554

※1 コアメンバー会議(高齢者虐待対応ケースコアメンバー会議)

初動期の虐待対応に位置づけられる会議で、市の責任において虐待の有無と緊急性の判断を行い、当面の対応方針を決定するために開催される会議。高齢福祉室の管理職および基幹型センターの後方支援担当と委託型センターの職員によって構成される。対応方針等の変更時や終結の判断時にも開催される。

※2 認定件数

高齢者虐待として受理した通報のうち、その通報内容をコアメンバー会議で協議した結果、高齢者虐待の事実があると認定した件数

イ 高齢者虐待にかかる統計資料

令和3年度上半期の高齢者虐待と認定された件数は、22件です。通報経路は、「ケアマネ」からの通報が29.7%と最も多く、次いで「警察」と「本人」が同数となっています。虐待の種別では「身体的虐待」が41.9%と最も多く、次いで「心理的虐待」「介護放棄」の順となっています。被虐待高齢者の性別では、「女性」が86.4%、年齢は「80～84歳」が27.3%、要介護認定の状況は「未認定」が22.7%と最も多くなっています。

※令和3年度は4月から9月の実績です。割合は令和3年度の実績を基にしています。

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
ケアマネ	16	10	27.8
近隣住民・知人	4	4	11.1
民生委員	1	0	0.0
本人	13	5	13.9
家族・親族	8	3	8.3
虐待者	1	0	0.0
行政職員	6	2	5.6
警察	23	7	19.4
その他	5	5	13.9
不明	0	0	0.0
計	77	36	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
有	70	34	100.0
無	0	0	0.0
計	70	34	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
立入調査	0	0	0.0
立入警察同行	0	0	0.0
計	0	0	0.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
訪問調査	55	30	88.2
情報収集	15	4	11.8
計	70	34	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
あり	48	22	64.7
なし	22	9	26.5
判断に至らず	0	3	8.8
計	70	34	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
身体的虐待	38	13	41.9
介護放棄	7	6	19.4
心理的虐待	22	9	29.0
性的虐待	0	0	0.0
経済的虐待	4	3	9.7
その他	0	0	0.0
計	71	31	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
男	13	3	13.6
女	35	19	86.4
不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

	令和2年度	令和3年度	割合(%)
～64	0	0	0.0
65～69	2	2	9.1
70～74	8	3	13.6
75～79	14	3	13.6
80～84	16	6	27.3
85～89	5	5	22.7
90～	3	3	13.6
不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

※令和3年度は4月から9月の実績です。割合は令和3年度の実績を基にしています。

⑨認定の有無			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
未申請	14	5	22.7
申請中	3	1	4.5
自立	3	0	0.0
要支援1	4	3	13.6
要支援2	4	0	0.0
要介護1	9	4	18.2
要介護2	6	3	13.6
要介護3	3	1	4.5
要介護4	1	1	4.5
要介護5	1	4	18.2
申請不明	0	0	0.0
介護度不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

⑩認知自立度			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
自立	4	2	12.5
I	10	2	12.5
II	8	7	43.8
III	5	2	12.5
IV	1	2	12.5
M	0	1	6.3
自立度不明	0	0	0.0
認知有無不明	0	0	0.0
計	28	16	100.0

※認知症日常生活自立度は要介護等認定済者のみ。

⑪同居・別居			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
同居	45	19	86.4
別居	3	3	13.6
その他	0	0	0.0
不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

⑫世帯構成			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
独居	1	1	4.5
夫婦二世帯	16	2	9.1
未婚の子と同居	19	12	54.5
既婚の子と同居	3	1	4.5
その他	9	6	27.3
不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

⑬虐待者との関係〔複数回答〕			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
夫	17	3	13.6
妻	3	1	4.5
息子	19	10	45.5
娘	8	6	27.3
息子の嫁	0	0	0.0
娘の婿	0	0	0.0
兄弟姉妹	0	0	0.0
孫	0	0	0.0
その他	1	2	9.1
不明	0	0	0.0
計	48	22	100.0

⑭分離の有無			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
分離	9	6	27.3
非分離	38	15	68.2
異なる対応	0	1	4.5
その他	1	0	0.0
検討中	0	0	0.0
計	48	22	100.0

⑮分離内訳			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
サービス	3	0	0.0
措置	0	0	0.0
面会制限	0	0	0.0
緊急保護	1	0	0.0
一時入院	2	3	50.0
その他	3	3	50.0
計	9	6	100.0

⑯非分離内訳〔複数回答〕			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
助言・指導	23	12	54.5
養護者サービス	2	1	4.5
本人サービス	9	2	9.1
プラン変更	4	4	18.2
保険外サービス	1	0	0.0
その他	3	2	9.1
見守りのみ	2	1	4.5
計	44	22	100.0

⑰権利擁護			
	令和2年度	令和3年度	割合(%)
後見開始済	0	0	0.0
後見手続中	0	0	0.0
市町村長申立	0	0	0.0
上記以外の権利擁護支援	0	0	0.0
計	0	0	0.0

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ア ケアマネジャー懇談会の活動

地域のケアマネジャーの支援を目的とした懇談会を、ニーズに合わせて行っています。令和3年度初めは、新型コロナウイルスの影響で開催ができませんでしたが、オンラインでの開催が可能なブロックも増え始め、圏域内のケアマネジャーへの情報提供や意見交換・交流が滞ることなく行えるようになりました。

	実施日	主な内容	開催方法・参加人数
JR以南	令和3年5月20日	報酬改定、新型コロナウイルス対応について	オンライン 14名
	令和3年8月19日	高齢者と薬剤について	オンライン 13名
	令和3年11月18日	成年後見制度について	オンライン
	令和4年2月17日	令和3年度の振り返り	オンライン
片山・岸部	令和3年6月18日	日々のケアマネ業務についての意見交換	中止
	令和3年8月13日	日々の業務についての意見交換	オンライン 10名
	令和3年12月17日	高齢者のリハビリの効果や必要性について専門職からの講義と実技	参集
	令和4年3月18日	一人暮らしの利用者の支援について	参集
南吹田 豊津・江坂	令和3年6月15日	高齢者虐待について	書面 58名
	令和3年9月21日	介護保険法改正・実地指導について	オンライン 32名
	令和3年11月25日	身寄りのない高齢者支援について	オンライン
	令和4年2月15日	ACP(人生会議)を知ろう	オンライン
佐井寺 千里山・	令和3年4月1日	令和3年度の議題について	オンライン 20名
	令和3年6月1日	生活保護制度について	オンライン 20名
	令和3年8月2日	情報交換会	オンライン 18名
	令和3年10月1日	年金制度について	オンライン 24名
	令和3年12月1日	情報交換会	オンライン
	令和4年2月1日	医療保険制度について	オンライン
千里丘 山田・	令和3年4月20日	介護保険制度の改正、介護報酬の改定についての意見交換	オンライン 19名
	令和3年6月15日	なんでも懇談会	オンライン 19名
	令和3年10月19日	生活保護制度	オンライン 22名
	令和4年2月15日	非常災害時におけるケアマネジャーの役割や対応について	オンライン
万里ニュータウン・ 万博・阪大	令和3年6月10日	摂食・嚥下の基礎知識・在宅で出来る摂食・嚥下障がい予防と対策	オンライン 19名
	令和3年10月14日	障がい者相談支援センターの連携と障がい福祉サービスについて	オンライン 26名
	令和4年2月10日	高齢者と精神疾患について・グループワークにて学習会の振り返りと来年度の取り組みについての意見交換	オンライン

*網掛けのテーマは、他ブロックからの参加が可能です。

イ 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域ケア会議、地区民生・児童委員会議、その他の地域の会議、地域密着型サービス運営推進会議への出席回数

令和2年度から続く新型コロナウイルスの影響で、様々な地域活動が中止となる中でも、感染対策を徹底し、できる方法を模索し地域住民や地域団体、関係機関等と工夫しながら、地域性を活かした地域の土台作りに取り組むことができました。

※令和3年度は4月から9月までの回数

ブロック別	地域ケア会議 (回)				民生・児童委員会 (回)		その他の地域の会議・講座 (出前講座、自治会、昼食会等) (回)		地域密着型サービス運営推進会議 (回)		令和3年度 地域ネットワークづくりに 関する具体的な活動内容
	令和2年度		令和3年度		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	
	ブロック別	包括別	ブロック別	包括別							
JR以南	吹一・吹六		0	0	0	1	5	2	3	1	7月に東御旅町のマンション住民を対象に介護予防・認知症予防の体操の講座を開催した。御旅町自治会館での講座や出張相談会の開催に向けて、関係機関と調整を進めている。また西御旅町のマンションの自治会にセンター広報誌を回覧してもらい、センターの周知を図っている。
	吹三・東	1	0	2	0	1	28	5	2	1	地域の高齢者サロンも休止となり直接的な活動は出来なかったが、宣言解除後の活動を企画。民生・児童委員、民間事業所、社会福祉協議会、歯科医師、センターで協力し、感染対策に留意したうえで介護フェアの開催(11月予定)を目指す。準備段階として社会福祉協議会と実行委員で民生・児童委員向けにスマホ講座を行ったり、チラシを作成し配布した。
片山・岸部	片山		0	0	1	0	17	11	0	0	月2回オンラインによる多職種会議に参加し、コロナ感染症にまつわることや地域防災について情報共有し、関係作りに努めている。「介護者支援の会」では地域住民向けに介護予防教室を行っており、センターも介護予防体操や講座を担当した。お出かけ配食ではセンターの周知活動や、特殊詐欺啓発活動を行った。
	岸部	1	0	2	0	0	2	3	11	2	ノルディックウォーキングを地域住民が気軽にできるように、高齢者いこいの家の協力のもとポールレンタルの開始に向けての準備をした。高齢者の活動性を高め、介護予防を目的に、講座「Kレンジャー工房」を健都ライブラリーと企画を進め、自法人リハビリ職、管理栄養士とともに準備し、チラシ配布を行った。「介護者支援の会」と協働で福祉マップ、介護110番フラッグの配布を開始した。
豊津・江坂・南吹田	南吹田		0	0	1	2	6	6	3	2	自治会長から地区集会所で「いきいき百歳体操」開催の相談があり、具体化に向けて話し合いを重ね、まずはおためし講座が開催できるように継続支援をしている。コロナ禍で地域の行事に参加が難しいため、各民生・児童委員に電話をして地域高齢者の現状や困りごとがないか等の確認を行った。
	豊津・江坂	1	0	2	0	1	0	2	1	0	「ふれあい昼食会」から、「ふれあい外出」へと変更となり、センターの周知と高齢者世帯を対象とした緊急通報装置、救急キット等の在宅福祉サービスの情報提供をセンター広報誌を通じて行った。また、民生・児童委員会議に参加し、改めてセンターの役割を周知するとともに、徘徊高齢者SOSネットワーク事業の案内、高齢者の重度化・孤立化防止の啓発を行った。

ブロック別	地域ケア会議 (回)				民生・児童 委員会 (回)		その他の地域の会 議・講座 (出前講座,自治会, 昼食会等)(回)		地域密着型 サービス運営 推進会議(回)		令和3年度 地域ネットワークづくりに 関する具体的な活動内容
	令和2 年度		令和3 年度		令和2 年度	令和3 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和2 年度	令和3 年度	
	ブ ロ ッ ク 別	包 括 別	ブ ロ ッ ク 別	包 括 別							
千里山・佐井寺	1	0	2	0	0	1	59	33	0	0	「元気になろうかい」で、コロナ禍でも可能な少人数のラジオ体操+吹田はつらつ体操+健康ミニ講座を千里図書館、千二、佐井寺地区公民館で7月に5回実施し好評であったため、継続予定。緊急事態宣言で実施が2回中止になった府大教授による「元気の体操」講座は、「元気になろうかい」定例会(月1回)でコロナ禍の状況を確認しながら、実施に向けて話し合いをしている。お散歩クラブ、いきいき百歳体操も実施。みずな・わかばの会の活動は、屋外での活動のため継続実施。
		0		0	0	2	8	1	3	1	
山田・千里丘	1	0	2	0	0	0	5	6	2	1	センターの周知のために、センター広報誌を作成。地域の福祉委員や民生・児童委員の協力を得て、幅広く地域住民に配布することが出来た。また民生・児童委員、福祉委員、関係機関の方からの聞き取りや、日々の相談内容を分析し、地域課題やニーズに応じた出前講座(介護保険、認知症、人生会議、センターの役割について等)や出張相談会を開催した。
		0		0	2	0	8	5	1	0	7月に地区民生・児童委員へ「コロナ禍での地域活動やセンターへの要望」について独自アンケートを実施し、8月のセンター広報誌にその集計結果を掲載し配布。アンケート結果より地域課題の把握、困り事や対応方法の共有ができた。9月に山一・北山田地区敬老行事へ参加し、センター広報誌の配布等を行い、周知を図った。民生・児童委員との連携が深まり、個別相談の増加につながった。
		0		0	1	0	5	6	6	1	地域の方には、サロンや認知症カフェ、ひろばde体操やいきいき百歳体操へ案内し、周知・啓発を図った。民生・児童委員、福祉委員との連携を図り、センターの周知や介護予防の推進のためにセンター広報誌の配布を行ったり、個別ケースにおいても協力して支援を行った。また、社会福祉協議会や民生・児童委員、福祉委員と協力し、スマートフォンのラインの使い方についてオンライン講座を開催した。

ブロック別	地域ケア会議 (回)				民生・児童 委員会 (回)		その他の地域の会 議・講座 (出前講座,自治会, 昼食会等)(回)		地域密着型 サービス運営 推進会議(回)		令和3年度 地域ネットワークづくりに 関する具体的な活動内容
	令和2 年度		令和3 年度		令和2 年度	令和3 年度	令和2 年度	令和3 年度	令和2 年度	令和3 年度	
	ブ ロ ッ ク 別	包 括 別	ブ ロ ッ ク 別	包 括 別							
千里ニュータウン・万博・阪大	桃山台・竹見台	0		0	0	0	0	4	0	1	民生・児童委員会の定例会に出席し、敬老会への参加を打診し、9/15・16にセンターの役割の周知を中心に人生会議・介護予防などを掲載したセンター広報誌を配布できた。民生・児童委員や高齢者からの相談も受け、対応を行った。その後、福祉委員会の出席や福祉委員の活動時にも声がかかり、地域とつながる機会が増えた。竹見台中学校での総合学習の一貫である福祉教育を社会福祉協議会・福祉委員会と協力し、来年春までの予定で活動している。
	佐竹台・高野台	0		0	0	1	29	20	0	0	地域の見守り力を高めると共に、就労しながら介護をする方にもセンターを周知するため、吹田市教育委員会に相談し、圏域の小中学校に向けてセンター広報誌を作成し配布した。介護予防推進員とコロナ禍でもできることをテーマに座談会を行い、「ひろばde体操」の提案があり支援していくこととなった。また、センター主催の研修で受付等の協力を依頼し、介護予防推進員の活動の機会にもなった。
	古江台・青山台	0		0	0	2	0	3	0	0	コロナ禍で中止になっていた地域活動を少しずつ再開し、出前講座を開催したり、シニアのための連続講座開催に協力した。また、CSW・生活支援コーディネーターと連携し、地区福祉委員、民生・児童委員と地域課題を共有する場をもった。
	津雲台・藤白台	0		0	0	1	3	7	0	0	藤白台地区民生・児童委員長より新たに民生・児童委員になられた方に対する研修を兼ねて、定期的に吹田市の高齢者に対する支援の内容を説明してほしいとの依頼があり、「吹田市の介護予防の取組」についての学習会を行った。今年度、数回実施する予定となっている。

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業関係

ア 介護予防普及啓発に関する取組

コロナ禍でも高齢者がはつらつ元気に過ごすことができるよう、各センターにおいて介護予防の取組を行っています。

ひろば de 体操は、屋外で行う飛沫感染リスクの低い取組であり、緊急事態宣言下でも運営ボランティアの協力が得られる会場については継続して実施しました。センターは 2 か月に 1 回以上、所管地域内のひろば de 体操会場を訪問し、運営ボランティアの支援を行っているほか、参加者へ介護予防に関する情報提供を適宜行っています。実施会場のないセンターについては実施場所や運営ボランティアの確保等について高齢福祉室と協働で検討を行っています。

また、吹田市と国立循環器病研究センターが「吹田フレイル予防ネット」の構築に向けて覚書を締結したことから、自宅退院になった軽症脳卒中患者の支援を 11 月から開始しました。モデル実施として片山・岸部の 2 センターから開始し、令和 4 年 4 月に全 15 センターで支援を開始します。

(ア) センター別ひろば de 体操実施会場数(令和3年 10 月末現在)

	吹一・吹六	吹三・吹東	片山	岸部	南吹田	豊津・江坂	千里山東・佐井寺	千里山西	亥の子谷	山田	千里丘	桃山台・竹見台	佐竹台・高野台	古江台・青山台	津雲台・藤白台	合計
会場数	1	0	1	1	2	1	2	1	1	1	2	2	0	1	0	16
(新規再掲)					(1)			(1)								(2)

【春日会館前(新規会場)】



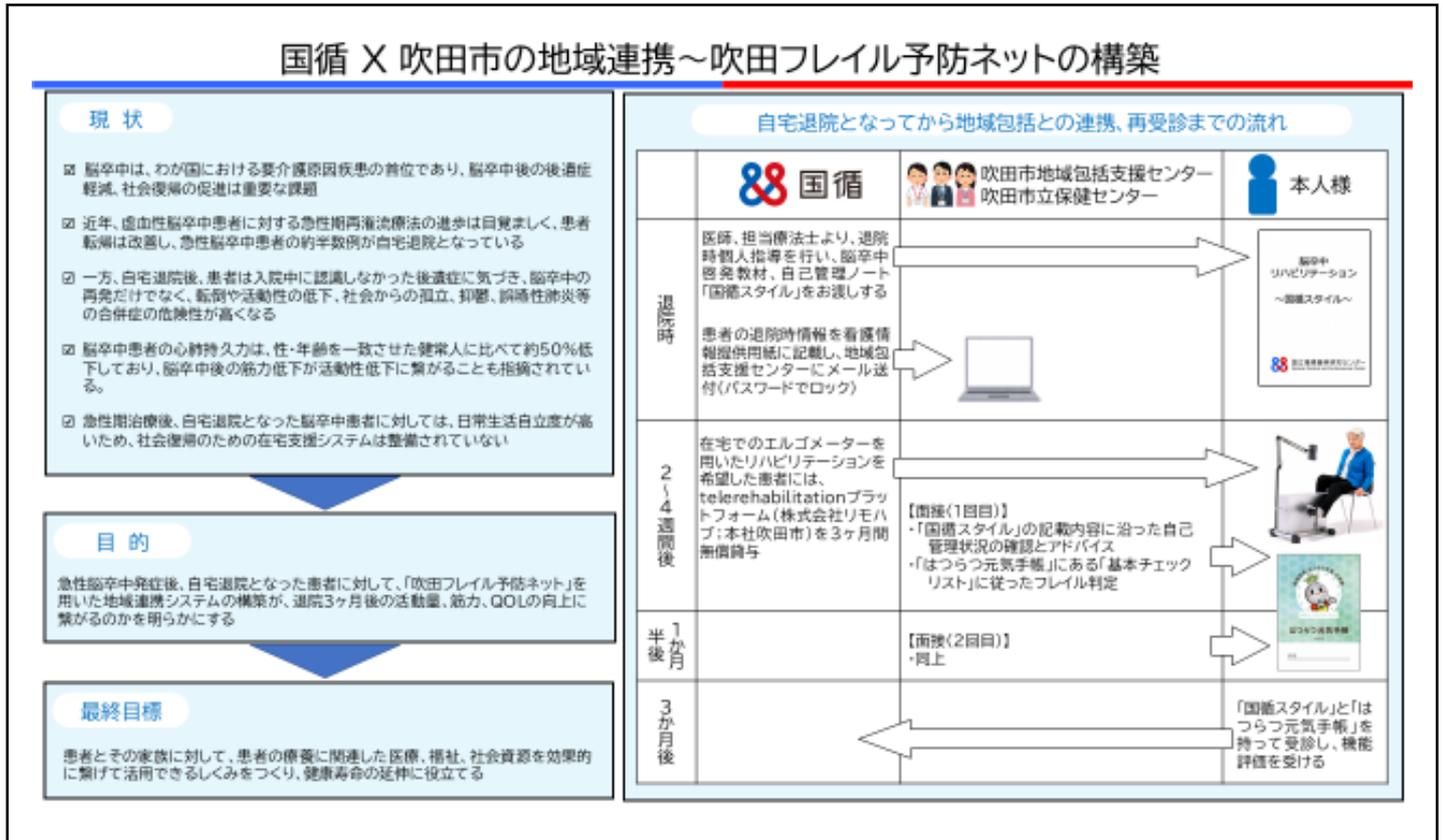
【泉の園公園前(新規会場)】



(イ)国循 × 吹田市の地域連携 ～吹田フレイル予防ネットの構築

10月29日、国立循環器病研究センターと市は急性脳卒中発症後、自宅退院になった軽症の患者に対して、退院後の心身の機能低下を防ぐための地域連携システム「吹田フレイル予防ネット」の構築に向け、覚書を締結しました。

国立循環器病研究センターから情報提供を受け、地域包括支援センターや保健センターが、患者及びその家族と医療・福祉・社会資源を効果的につなげ、健康寿命の延伸に役立てることをめざします。



概要図は市ホームページで公開中

吹田フレイル予防ネット

検索

<https://www.city.suita.osaka.jp/var/rev0/0558/4371/suitafureiruyobounettogaiyou.pdf>



イ 住民主体の介護予防活動支援に関する取組

高齢期においても可能な限り元気で過ごせる期間が長くなるよう、誰もが参加しやすく、楽しく継続できる住民主体の取り組みが各地で展開されることを目的として、いきいき百歳体操をツールとした支援を、各センターと高齢福祉室訓練職が協働して行っています。いきいき百歳体操継続グループは、コロナ禍による活動自粛から順次活動を再開されており、各センターは感染拡大防止策を確認しながら、必要に応じてグループ代表者や参加者への支援を行っています。

また、出前講座メニューに「知っておこう！感染症の予防～新型コロナウイルス感染症～」を追加し、地域の高齢者グループ等から依頼があった場合に対応できるよう体制を整えています。

その他、市で養成した介護予防推進員の情報を共有しており、介護予防推進員と連携した取組を各センターで検討しています。

(ア)いきいき百歳体操

令和3年10月31日現在

センター別グループ活動
の再開状況。

	活動支援対象 グループ数	活動再開状況		
		再開済み	11月再開 予定	再開未定
吹一・吹六	13	11	2	
吹三・東	4	1	1	2
片山	10	5	2	3
岸部	11	9		2
南吹田	5	4		1
豊津・江坂	8	6		2
千里山東・佐井寺	16	5	1	10
千里山西	10	5	1	4
亥の子谷	16	15	1	
山田	14	11	1	2
千里丘	13	11	1	1
桃山台・竹見台	17	12	2	3
佐竹台・高野台	7	5	1	1
古江台・青山台	5	4		1
津雲台・藤白台	5	4		1
計	154	108	13	33
	100.0%	70.1%	8.4%	21.4%

(イ)介護予防推進員

令和3年9月30日現在

センター別登録
者人数と活動内容。

	登録者数	希望する活動内容				
		講演会 P R	講演会 当日の 手伝い	体力 測定	ひろば d e 体操	介護 予防を 行う 団体へ
吹一・吹六	6	5	1	1	2	0
吹三・東	10	5	8	7	1	5
片山	8	5	4	4	4	3
岸部	12	8	4	9	4	6
南吹田	5	3	0	3	5	2
豊津・江坂	9	3	1	4	5	4
千里山東・佐井寺	11	5	6	4	6	5
千里山西	3	1	0	2	1	3
亥の子谷	12	3	4	8	11	3
山田	8	5	0	5	3	4
千里丘	12	9	6	8	4	7
桃山台・竹見台	11	5	2	4	6	3
佐竹台・高野台	8	4	2	2	1	1
古江台・青山台	4	1	0	3	2	2
津雲台・藤白台	12	7	5	7	4	6
合計	131	69	43	71	59	54
	100.0%	52.7%	32.8%	54.2%	45.0%	41.2%

ウ 地域リハビリテーション活動支援事業

高齢者の自立支援を目的に吹田市自立支援型ケアマネジメント会議を実施しています。リハビリテーション専門職等の助言を得て、多職種協働による事例検討を行っています。センターは事例提出やリハビリ専門職とともに助言者(社会福祉士・主任介護支援専門員・保健師等)の役割を担い、自立を妨げる課題の分析や最適なケアプランを検討・実施することにより、高齢者の尊厳の維持及び生活の質の向上と重度化防止を目指しています。センターにおいては一定の自立支援に向けたケアマネジメントが定着したことから、令和3年度からは月1回の開催としました。事例に係る介護サービス事業者への会議参加の声かけや居宅介護支援事業所からの事例提供、傍聴を促すなど、広く自立支援の視点の浸透・定着を図っています。

(ア) 事例検討助言者職種一覧表

社会福祉士	各センター(輪番)
主任介護支援専門員	各センター(輪番)
保健師等	各センター(輪番)
理学療法士	一般社団法人吹田市理学療法士会に依頼
作業療法士	一般社団法人大阪府作業療法士会に依頼
言語聴覚士	一般社団法人大阪府言語聴覚士会に依頼
歯科衛生士	一般社団法人吹田市歯科医師会に依頼
管理栄養士	吹田地区栄養士会さんくらぶに依頼

(イ) 自立支援型ケアマネジメント会議実施状況

令和3年度当初の4月・5月は緊急事態宣言により中止としましたが、6月からは傍聴受入れを制限するなど、感染予防対策を講じながら自立支援に向けたケアマネジメント力向上の機会を確保しています。

		令和2年度		令和3年度(4月~9月)		
() 開催回数 は 予定		10回(22回)		4回(6回)		
事例 提出 件数	40	センター提出数(再掲)	34	17	センター提出数(再掲)	15
		居宅提出数(再掲)	6		居宅提出数(再掲)	2
数 傍聴者	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 サービス事業所 その他(他市行政等)	33	居宅介護支援事業所	2		
出 務 人 数 セ ン タ ー	社会福祉士	10	社会福祉士	4		
	主任介護支援専門員	10	主任介護支援専門員	4		
	保健師等	10	保健師等	4		
出 務 人 数 セ ン タ ー 司 会 者	主任介護支援専門員 ※1回につき、司会者は2人体制 (高齢福祉室職員も含む)	19	主任介護支援専門員 ※1回につき、司会者は2人体制 (高齢福祉室職員も含む)	7		

エ 吹田市高齢者安心・自信サポート事業

「吹田市高齢者安心自信サポート事業」には以下の5種類のサービスがあります。

- 訪問型サービス
 - ①訪問型サポートサービス
(従前の予防訪問介護と同内容のサービス)
 - ②訪問型短期集中サポートサービス
(生活機能向上をめざし専門職が短期間に集中的なりハビリを実施)
- 通所型サービス
 - ③通所型サポートサービス
(従前の予防通所介護と同内容のサービス)
 - ④通所型入浴サポートサービス
(入浴に特化した短時間の基準緩和型通所型サービス)

⑤介護予防ケアマネジメント

①～④のサービスのみを利用される場合に作成される、利用者の望む生活へ向けた自立の力を引き出す支援内容計画書。地域包括支援センターや指定居宅介護支援事業所のケアマネジャーが作成。

地域包括支援センターが31項目の基本チェックリストを実施し、生活機能の低下が見られた高齢者を支援し、自立支援の視点から介護予防ケアマネジメント(実績はP60の介護予防支援、介護予防ケアマネジメント業務関係を参照。)を作成し、①から④のサービスの利用調整を行います。センターが直接支援計画を作成するほか、一部を指定居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)へ委託しています。委託した計画についてもセンターがその内容を点検し、利用者の自立支援を促進しています。

(ア)センター別基本チェックリスト実施件数 (単位:件)

	令和2年度	令和3年度 (4月～9月)
吹一・吹六	11	0
吹三・東	4	0
片山	8	1
岸部	9	2
南吹田	11	1
豊津・江坂	15	1
千里山東・佐井寺	6	6
千里山西	18	3
亥の子谷	16	10
山田	16	3
千里丘	6	6
桃山台・竹見台	2	1
佐竹台・高野台	0	5
古江台・青山台	6	3
津雲台・藤白台	11	1
合計	139	43

(イ) 訪問型短期集中サポートサービス

加齢や入院等をきっかけとして、体力・筋力が低下し、日常生活に不安がある人に、専門職（リハビリ職）が訪問します。センターの職員及び、令和2年12月からは居宅介護支援事業所もケアプランを担当し、通所型サポートサービスと組み合わせて、自立へ向けて積極的に支援しています。新型コロナウイルス感染症の影響により専門職の訪問を中止した時期もありましたが、徐々に相談件数も増えてきており、早期に機能改善が見込まれる高齢者の自立支援に取り組んでいます。

センター別訪問型短期集中サポートサービス実績

(単位:件)

	令和2年度		令和3年度 (4~9月)			
	相談 件数	利用 件数	相談 件数	(再掲) 居宅介護支 援事業所	利用 件数	(再掲) 居宅介護支 援事業所
吹一・吹六	3	0	3	0	0	0
吹三・東	1	0	0	0	0	0
片山	7	0	4	0	0	0
岸部	5	3	5	0	2	0
南吹田	3	0	2	0	0	0
豊津・江坂	10	2	6	1	1	1
千里山東・佐井寺	2	2	2	1	1	1
千里山西	3	0	3	0	0	0
亥の子谷	1	0	4	1	1	1
山田	9	3	1	0	0	0
千里丘	0	0	4	0	1	0
桃山台・竹見台	7	1	2	0	1	0
佐竹台・高野台	6	2	5	0	1	0
古江台・青山台	7	0	3	0	0	0
津雲台・藤白台	2	1	3	0	1	0
合計	66	14	47	3	9	3

(5) 認知症支援に関する取組

ア 認知症サポーター等養成事業実施状況

この事業は、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するものです。認知症サポーター養成講座は、出前講座として地域や企業、学校等からの依頼を受けて、各センターが認知症キャラバン・メイトへの依頼等調整を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で講座の定員を縮小し、毎年受講者が減少する見込みであることから、令和3年度は、累計28,190人の認知症サポーターを養成することを目標としています。新型コロナウイルス感染症の影響があっても認知症に対する正しい知識を持ち、理解を深めることができるよう、啓発活動とオンラインによる講座の開催にも努めます。

(ア) 認知症サポーター養成講座開催状況

	～平成元年度	令和2年度	令和3年度(4～9月)	累計
開催回数(回)	764	17	11	792
受講者数(人)	26,657	26,906	27,043	27,043

(イ) 認知症サポーター養成講座受講者数の内訳 (単位:人)

対象		令和2年度	令和3年度(4～9月)
住民		156	75
企業・職域団体		76	62
介護サービス事業者		17	0
学校	小・中学校	0	0
	大学	0	0
行政	市役所職員	0	0
合計		249	137

(ウ) 認知症サポーター養成講座 センター別開催状況 (単位:回)

	令和2年度	令和3年度(4～9月)		令和2年度	令和3年度(4～9月)
吹一・吹六	2	1	亥の子谷	0	1
吹三・東	3	1	山田	1	0
片山	1	0	千里丘	0	0
岸部	2	2	桃山台・竹見台	1	1
南吹田	1	0	佐竹台・高野台	0	0
豊津・江坂	3	1	古江台・青山台	0	0
千里山東・佐井寺	1	1	津雲台・藤白台	1	2
千里山西	0	1	基幹型	1	0
			合計	17	11

*R2年度 南吹田、山田は基幹型と合同でオンライン開催。

イ 認知症高齢者等支援対象者情報提供制度

認知症高齢者等支援対象者情報提供制度は、警察が認知した高齢者の保護事案について警察が高齢者の家族の同意を得て、市(高齢福祉室)に情報提供されるものです。

高齢者の住所地を担当するセンターは、担当ケアマネジャーや家族等への連絡を通じて、医療受診や福祉サービス等の必要な支援につなげ、行方不明の未然防止に努めています。

センター別提供件数

(単位:件)

	令和2年度	令和3年度(4~9月)		令和2年度	令和3年度(4~9月)
吹一・吹六	9	5	亥の子谷	16	7
吹三・東	15	6	山田	10	3
片山	6	8	千里丘	17	10
岸部	25	9	桃山台・竹見台	7	1
南吹田	26	7	佐竹台・高野台	18	9
豊津・江坂	13	7	古江台・青山台	32	10
千里山東・佐井寺	7	0	津雲台・藤白台	13	5
千里山西	7	5	合計	221	92

ウ 運転免許の自主返納等による支援対象者情報提供制度

運転免許を返納した高齢者が速やかにセンター等からの生活支援を受けられるように、警察が高齢者の同意を得て、市に情報提供されるものです。

高齢者の住所地を担当するセンターは、本人や家族への連絡を通じて、情報提供や福祉サービス等の必要な支援につなげ、在宅で生活できるよう支援しています。

(単位:件)

	令和2年度	令和3年度(4~9月)
提供件数	1	1

エ 徘徊高齢者SOSネットワーク事業(みまもりあいステッカーに関するもの)

徘徊高齢者SOSネットワーク事業(みまもりあいステッカーに関するもの)

令和2年8月より徘徊高齢者SOSネットワーク事業はみまもりあいステッカーを用いた見守り、みまもりあいアプリを用いた検索依頼になりました。みまもりあいステッカーとは名前や電話番号等の個人情報に代わり、ステッカーに記載されたID番号とフリーダイヤルを用いて、徘徊高齢者の発見者と家族が直接通話出来るものです。また、スマートフォンから検索依頼の送受信が出来るアプリ「みまもりあいアプリ」を同時に開始し、センターは認知症高齢者等支援対象者情報提供制度による対応ケースや認知症サポーター養成講座等により、この事業を周知し利用促進を図っています。

(ア)利用者数

令和2年度(3月末時点)	令和3年度(9月末時点)	(単位:人)
95	104	

(イ) ステッカー利用者の発見連絡回数(ID転送通報件数)

令和2年度(8月～3月)	令和3年度(4～9月)	(単位:回)
53	47	

(ウ) みまもりあいアプリ検索依頼延回数

令和2年度(8月～3月)	令和3年度(4～9月)	(単位:回)
76	78	

(エ) みまもりあいアプリダウンロード数

令和2年度(3月末時点)	令和3年度(9月末時点)	(単位:件)
3,011	5,502	

オ 認知症地域サポート事業(徘徊高齢者搜索模擬訓練)

平成25年度から2年間実施した認知症地域サポートモデル事業を参考に、地域住民の方が取り組みやすいよう「徘徊高齢者搜索模擬訓練マニュアル」を作成し、平成27年度からは新規事業として、地域住民主体の事業として取り組みを続けています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下ではありましたが、5月に地区募集の市報掲載を行いました。地区からの応募はありませんでしたが、認知症等の人を見守るネットワークづくりのきっかけとして、単一自治会やマンション単位等の小規模な「徘徊高齢者搜索模擬訓練」を実施できるよう、今後も進めていきます。

カ 認知症総合支援事業

平成29年度から早期に認知症の鑑別診断を行い、速やかに適切な医療・介護等が受けられる初期の支援体制を構築するため、認知症初期集中支援チームを設置しています。また、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療や介護等のネットワーク形成と認知症ケア向上の取組を行うため、認知症地域支援推進員を配置しています。

各センターは、認知症初期集中支援チームと連携し、認知症の人やその家族を支援しています。また、認知症地域支援推進員とは地域の課題を共有しながら地域支援ネットワークの構築を進めています。

(ア) 認知症初期集中支援チームによる支援対象者数(単位:人)

	令和2年度		令和3年度(4～9月)	
	支援対象者	新規(再掲)	支援対象者	新規(再掲)
吹一・吹六	9	9	8	2
吹三・東	5	3	1	1
片山	13	13	10	3
岸部	3	1	1	0
南吹田	0	0	1	1
豊津・江坂	1	1	2	1
千里山東・佐井寺	9	7	7	3
千里山西	1	1	2	2
亥の子谷	2	2	0	0
山田	1	0	1	1
千里丘	5	2	4	2
桃山台・竹見台	4	3	6	3
佐竹台・高野台	3	3	4	2
古江台・青山台	3	3	0	0
津雲台・藤白台	2	1	3	2
合計	61	49	50	23

(イ) 認知症地域支援推進員との連携によるネットワークづくり

令和2年度	令和3年度(4～9月)
吹一・吹六センターの認知症に関する連続講座が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、桃山台・竹見台センターが連携し、南千里地区公民館で規模を縮小して吹田市オレンジフェア(※)を開催し、16名の参加がありました。	認知症施策に関する普及啓発として、吹田市オレンジフェア(※)で岸部センターが講座を開催し、15名の参加がありました。 また、片山センターと津雲台・藤白台センターが若年性認知症講習会開催に向けて大阪府若年性認知症コーディネーターとの打合せに参加。桃山台・竹見台センターがさわ病院認知症疾患医療センターとの連絡会に向けての事例提供の準備を進めています。

※毎年9月のアルツハイマー月間に併せてセンターと認知症地域支援推進員が共催で実施する認知症の予防や普及啓発に関する催し。

(6) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務関係

ア センター別介護予防支援、介護予防ケアマネジメント担当数

令和3年9月末時点では、令和2年9月末時点と比較して利用者数は142件減少しています。また委託プラン数は131件減少していますが、委託率は同程度となっています。

地域	包括	令和3年度 要支援認定者数 (9月末時点)	令和3年度 事業対象者数 (9月末時点)	介護予防支援、介護予防ケアマネジメント利用者数						委託先の事業所数		
				令和2年度(9月末)			令和3年度(9月末)			令和3年度(9月末)		
				各センター プラン数	うち委託 プラン数(★)	委託率	各センター プラン数	うち委託 プラン数(★)	委託率	事業所数	受託最多事業所 プラン数	(★) に占める 割合
JR以南	吹六	278	14	196	117	59.7%	182	115	63.2%	36	13	11.3%
	吹三	436	17	275	198	72.0%	290	199	68.6%	39	21	10.6%
片山・岸部	片山	384	22	268	219	81.7%	258	200	77.5%	49	25	12.5%
	岸部	428	15	307	199	64.8%	307	208	67.8%	39	22	10.6%
豊津・江坂	南吹田	325	23	222	140	63.1%	215	140	65.1%	30	23	16.4%
	江豊坂津	415	45	325	234	72.0%	302	213	70.5%	46	25	11.7%
佐井寺・千里山	佐井寺	249	44	207	108	52.2%	210	98	46.7%	41	10	10.2%
	千里山	318	41	269	170	63.2%	258	164	63.6%	51	29	17.7%
山田・千里丘	亥の子	321	10	213	157	73.7%	215	155	72.1%	53	16	10.3%
	山田	332	32	261	151	57.9%	261	152	58.2%	44	13	8.6%
	千里丘	351	26	260	175	67.3%	239	180	75.3%	42	40	22.2%
千里ニュータウン 万博・阪大	竹見山台	448	29	332	221	66.6%	321	196	61.1%	49	39	19.9%
	高野竹台	326	16	259	164	63.3%	238	141	59.2%	49	24	10.1%
	青山台	373	19	293	222	75.8%	272	201	73.9%	47	23	11.4%
	藤津白雲台	316	18	234	144	61.5%	211	126	59.7%	48	12	9.5%
合計		5,300	371	3,921	2,619	66.8%	3,779	2,488	65.8%			13.5%

※委託担当：包括担当が介護保険で指定を受けている居宅介護支援事業所へ一部委託をしています。

イ センター別介護予防支援、介護予防ケアマネジメント ケアプラン作成終了理由

介護保険法における「自立支援・能力の維持向上」の理念の下、最適なケアプランを実践することにより、高齢者の尊厳の維持及び生活の質の向上を図り、介護予防・重度化防止に取り組んでおります。
 プラン作成の終了理由で最も多いのは、要介護への移行で65.1%です。令和2年度と比較すると割合は少し高くなっています。また、自立は9.9%となっており、令和2年度と比較すると割合は少し低くなっています。

地域	包括	令和2年度						令和3年4月～9月					
		終了理由					計	終了理由					計
		へ要 行の介 移護	自立	死亡	入院	※ 1 その他		へ要 行の介 移護	自立	死亡	入院	その 他※	
J R 以 南	吹 吹 六 一	31	7	11	4	7	60	22	3	4	0	8	37
	東 吹 三	52	3	11	2	9	77	27	3	2	2	2	36
片 山 ・ 岸 部	片 山	45	0	6	4	5	60	15	1	2	1	3	22
	岸 部	46	12	6	4	9	77	24	9	6	1	2	42
豊 津 ・ 江 坂	南 吹 田	39	4	4	5	3	55	17	0	0	1	2	20
	江 豊 坂 津	13	4	4	4	5	30	14	1	1	1	1	18
千 里 山 ・ 佐 井 寺	千 里 山 東 佐 井 寺	50	9	6	7	6	78	14	2	3	4	3	26
	千 里 山 西 亥 の 子 谷	38	15	3	14	12	82	25	3	1	3	2	34
山 田 ・ 千 里 丘	山 田	34	4	6	0	4	48	11	1	2	0	3	17
	山 田	43	14	6	6	8	77	16	3	6	4	4	33
	千 里 丘	38	12	1	12	7	70	24	1	2	0	6	33
千 里 ニ ュ ー タ ウ ン ・ 阪 大	竹 桃 見 山 台	58	12	6	3	7	86	20	6	2	2	1	31
	高 佐 野 竹 台	50	6	7	2	5	70	9	0	1	1	3	14
	青 古 山 江 台	54	10	3	2	6	75	30	0	2	1	3	36
	藤 津 白 雲 台	46	16	7	9	11	89	15	10	2	7	2	36
計		637	128	87	78	104	1,034	283	43	36	28	45	435
		61.6%	12.4%	8.4%	7.5%	10.1%	100.0%	65.1%	9.9%	8.3%	6.4%	10.3%	100.0%

※その他の理由は、転出、施設入所等。